

平成 24 年度

県政世論調査

(概要版)

香 川 県

目 次

I 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査項目	1
3 調査設計	1
4 回収状況	1
5 サンプル設計	1
6 報告書の見方	3
II 調査回答者の属性	5
III 調査の集計結果	9
1 地震や防災対策について	9
2 少子化対策について	15
3 がん対策について	33
4 地域医療の充実について	41
5 県政の重要度と満足度について	49

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査目的

県政の諸問題について、県民の意見や要望等を把握し、今後の施策立案に際しての基礎資料とすることを目的とする。

2 調査項目

- (1) 地震や防災対策について
- (2) 少子化対策について
- (3) がん対策について
- (4) 地域医療の充実について
- (5) 県政の重要度と満足度について

3 調査設計

- (1) 調査地域 香川県全域
- (2) 調査対象 満20歳以上の県民
- (3) 標本数 3,000
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (5) 調査法 郵送法
- (6) 調査時期 平成24年6月12日～7月3日

4 回収状況

- (1) 標本数 3,000
- (2) 有効回収数 1,698 (56.6%)

5 サンプル設計

- (1) 母集団 香川県内の市町に居住する満20歳以上の県民
- (2) 標本数 3,000
- (3) 地点数 151地点 (市部:126地点、町部:25地点)
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

〔 層 化 〕

県内の市町（8市9町）を次のように5圏域に分類した。

圏 域 名	構 成 市 町
1 高松圏域	高松市・三木町・直島町・綾川町
2 東讃圏域	さぬき市・東かがわ市
3 小豆圏域	土庄町・小豆島町
4 中讃圏域	丸亀市・坂出市・善通寺市・宇多津町・琴平町・多度津町・まんのう町
5 西讃圏域	観音寺市・三豊市

さらに、各圏域内を市町の規模によって、

①高松市 ②高松市以外の市 ③町 に分類して、それぞれを層とした。

〔 標本数の配分 〕

各層における母集団数（平成24年3月2日現在の選挙人名簿登録者数）の大きさにより、3,000の標本数を比例配分した。

〔 抽 出 〕

- ① 第1次抽出単位となる調査地点として、平成24年3月2日現在の投票区を使用した。
- ② 調査地点数については、1調査地点あたりの標本数が20前後になるように、各層に割り当てられた標本数から算出して決定した。
- ③ 調査地点の抽出は、調査地点数が2地点以上割り当てられた層については、

$$\left(\frac{\text{層における選挙人名簿登録者数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right)$$

を算出し、等間隔抽出法により該当番目が含まれる投票区を抽出した。

- ④ 抽出に際しての各層内における市町の配列順序は、総務省設定の市町村コードに従った。
- ⑤ 調査地点における対象者の抽出は、調査地点（投票区）内から選挙人名簿によって等間隔抽出法で抽出した。
- ⑥ 以上の結果、圏域別・市町規模別における標本数・調査地点数は次のとおりである。

〈 圏域別・市町規模別 標本数及び調査地点数 〉

上段：母集団数

下段：標本数、() 内は調査地点数

圏域 \ 市町別	高松市	高松市以外の市	町	計
1 高松圏域	344,842 1,250(62)		47,494 172(9)	392,236 1,422(71)
2 東讃圏域		73,642 267(13)		73,642 267(13)
3 小豆圏域			27,435 100(5)	27,435 100(5)
4 中讃圏域		165,070 598(30)	58,369 212(11)	223,439 810(41)
5 西讃圏域		110,645 401(21)		110,645 401(21)

6 報告書の見方

- (1) 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出し、少数第2位を四捨五入した。
このために、百分比の合計が100%にならないことがある。
- (2) グラフにおける「N」は、比率算出の基数であり、その比率は件数を100%として算出した。
- (3) 複数回答の設問の場合、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- (4) 調査対象者の職業別及び圏域別区分は次のとおりである。

◆職業別

農林漁業：農林漁業を営んでいる（家族従業者も含む）

商工業、サービス業、自由業など：商工業、サービス業、自由業などを営んでいる
（家族従業者も含む）

会社、商店、官公庁などに勤務：会社、商店、官公庁などに勤めている（パートも含む）

主婦・主夫：主婦・主夫（家族の中で家事が主な役割の方）

無職：無職（学生を含む）

◆圏域別

高松圏域：高松市・三木町・直島町・綾川町

東讃圏域：さぬき市・東かがわ市

小豆圏域：土庄町・小豆島町

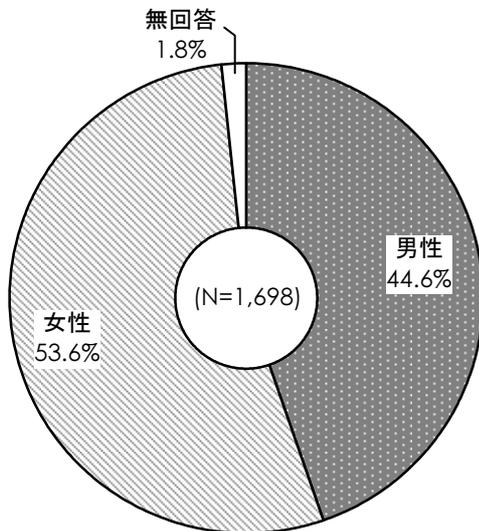
中讃圏域：丸亀市・坂出市・善通寺市・宇多津町・琴平町・多度津町・まんのう町

西讃圏域：観音寺市・三豊市

Ⅱ 調査回答者の属性

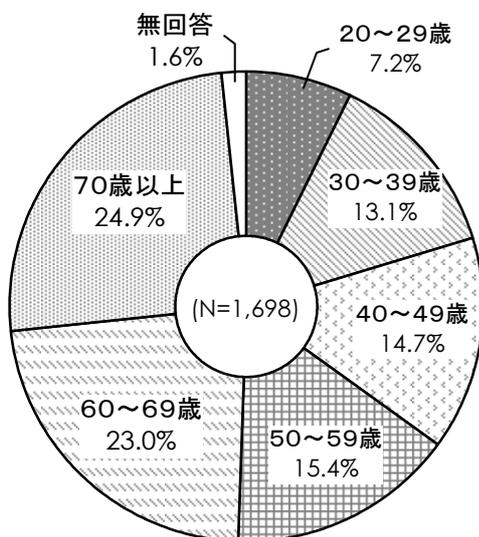
Ⅱ 調査回答者の属性

1 性別



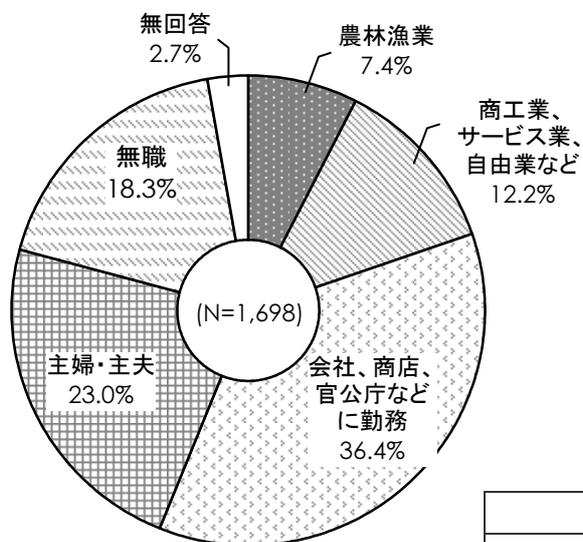
項目	回答数(人)	構成比 (%)
男性	758	44.6
女性	910	53.6
(無回答)	30	1.8
計	1,698	100.0

2 年齢



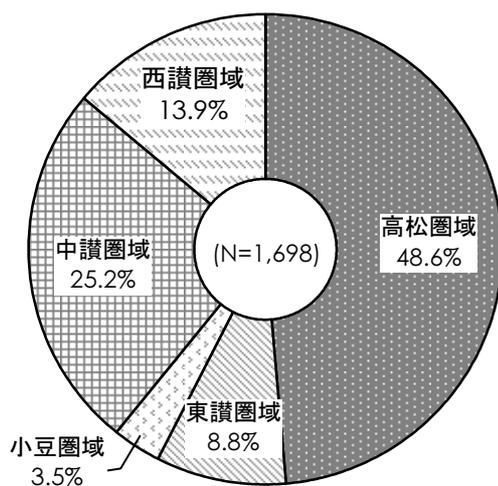
項目	回答数(人)	構成比 (%)
20~29歳	123	7.2
30~39歳	223	13.1
40~49歳	249	14.7
50~59歳	262	15.4
60~69歳	390	23.0
70歳以上	423	24.9
(無回答)	28	1.6
計	1,698	100.0

3 職業



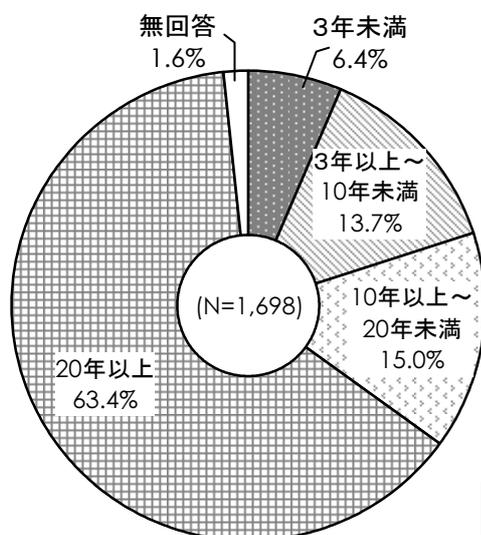
項目	回答数(人)	構成比 (%)
農林漁業	126	7.4
商工業、サービス業、自由業など	208	12.2
会社、商店、官公庁などに勤務	618	36.4
主婦・主夫	390	23.0
無職	310	18.3
(無回答)	46	2.7
計	1,698	100.0

4 圏域



項目	回答数(人)	構成比 (%)
高松圏域	825	48.6
東讃圏域	150	8.8
小豆圏域	59	3.5
中讃圏域	428	25.2
西讃圏域	236	13.9
計	1,698	100.0

5 居住年数



項目	回答数(人)	構成比(%)
3年未満	108	6.4
3年以上～10年未満	232	13.7
10年以上～20年未満	255	15.0
20年以上	1,076	63.4
(無回答)	27	1.6
計	1,698	100.0

Ⅲ 調査の集計結果

Ⅲ 調査の集計結果

1 地震や防災対策について

(1) 南海地震のような大地震が起こった場合に心配なこと

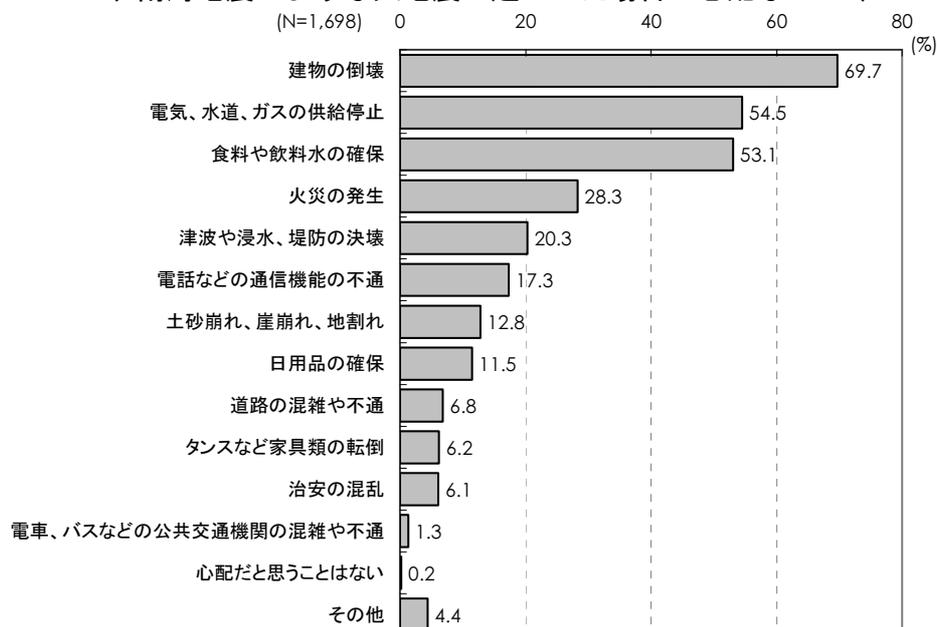
問1 あなたは、もし南海地震のような大地震が起こった場合、どのようなことが心配ですか。次の中から3つまで選んでください。

[回答者数=1,698]

1 建物の倒壊	69.7%
2 電気、水道、ガスの供給停止	54.5%
3 食料や飲料水の確保	53.1%
4 火災の発生	28.3%
5 津波や浸水、堤防の決壊	20.3%
6 電話などの通信機能の不通	17.3%
7 土砂崩れ、崖崩れ、地割れ	12.8%
8 日用品の確保	11.5%
9 道路の混雑や不通	6.8%
10 タンスなど家具類の転倒	6.2%
11 治安の混乱	6.1%
12 電車、バスなどの公共交通機関の混雑や不通	1.3%
13 心配だと思わない	0.2%
14 その他	4.4%

南海地震のような大地震が起こった場合に心配なことについては、「建物の倒壊」が69.7%と7割近くで最も高く、次いで「電気、水道、ガスの供給停止」が54.5%、「食料や飲料水の確保」が53.1%などとなっている。

〈 南海地震のような大地震が起こった場合に心配なこと 〉



(2) 南海地震に備えてとっている対策

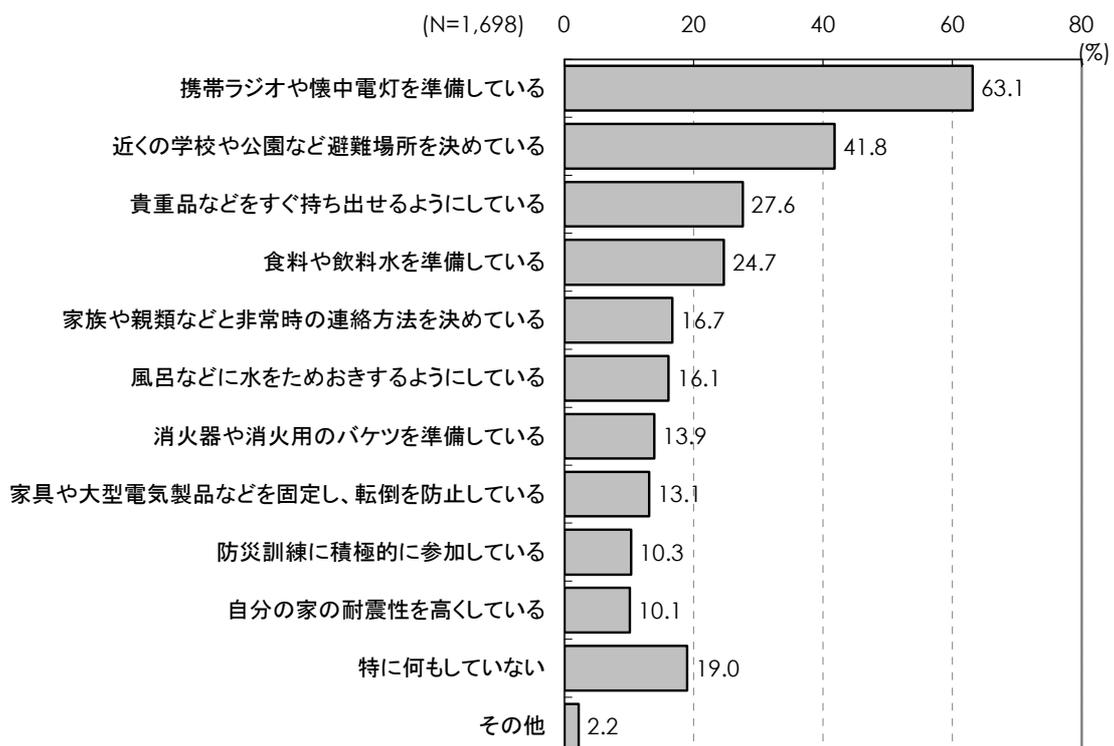
問2 あなたは、南海地震に備えて、どのような対策をとっていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

[回答者数=1,698]

1	携帯ラジオや懐中電灯を準備している	63.1%
2	近くの学校や公園など避難場所を決めている	41.8%
3	貴重品などをすぐ持ち出せるようにしている	27.6%
4	食料や飲料水を準備している	24.7%
5	家族や親類などと非常時の連絡方法を決めている	16.7%
6	風呂などに水をためおきするようになっている	16.1%
7	消火器や消火用のバケツを準備している	13.9%
8	家具や大型電気製品などを固定し、転倒を防止している	13.1%
9	防災訓練に積極的に参加している	10.3%
10	自分の家の耐震性を高くしている	10.1%
11	特に何もしていない	19.0%
12	その他	2.2%

南海地震に備えてとっている対策については、「携帯ラジオや懐中電灯を準備している」が63.1%と6割を超え最も高く、次いで「近くの学校や公園など避難場所を決めている」が41.8%、「貴重品などをすぐ持ち出せるようにしている」が27.6%、「食料や飲料水を準備している」が24.7%などとなっている。また、「特に何もしていない」が19.0%となっている。

〈 南海地震に備えてとっている対策 〉



(3) 南海地震に備えて、今後とろうと考えている対策

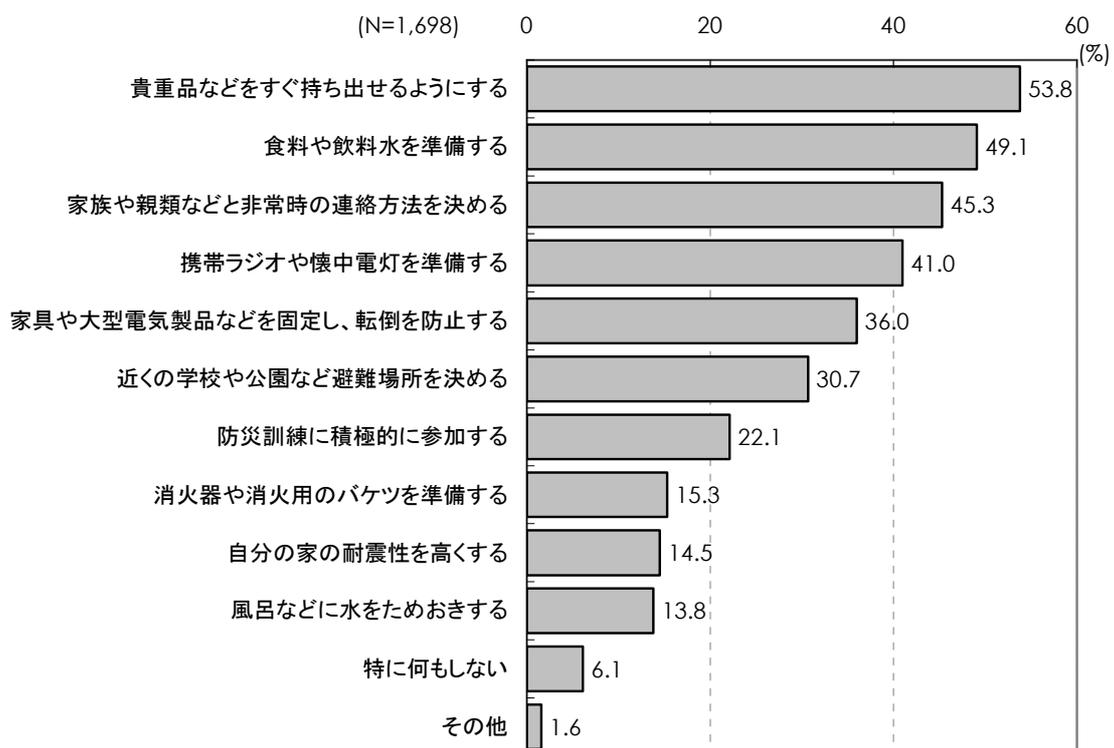
問3 あなたは、南海地震に備えて、今度どのような対策をとろうと考えていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

[回答者数=1,698]

1 貴重品などをすぐ持ち出せるようにする	53.8%
2 食料や飲料水を準備する	49.1%
3 家族や親類などと非常時の連絡方法を定める	45.3%
4 携帯ラジオや懐中電灯を準備する	41.0%
5 家具や大型電気製品などを固定し、転倒を防止する	36.0%
6 近くの学校や公園など避難場所を決める	30.7%
7 防災訓練に積極的に参加する	22.1%
8 消火器や消火用のバケツを準備する	15.3%
9 自分の家の耐震性を高くする	14.5%
10 風呂などに水をためおきする	13.8%
11 特に何もしない	6.1%
12 その他	1.6%

南海地震に備えて、今後とろうと考えている対策については、「貴重品などをすぐ持ち出せるようにする」が53.8%と半数を超え最も高く、次いで「食料や飲料水を準備する」が49.1%、「家族や親類などと非常時の連絡方法を定める」が45.3%、「携帯ラジオや懐中電灯を準備する」が41.0%などとなっている。

〈 南海地震に備えて、今後とろうと考えている対策 〉



(4) 自主防災組織への加入状況

問4 災害から住民を守るため、消防団とは別に、自治会などを単位として、初期消火、避難誘導、被災者の救出・救護などの自主的な防災活動を行う組織を自主防災組織（自主防災会）といいます。

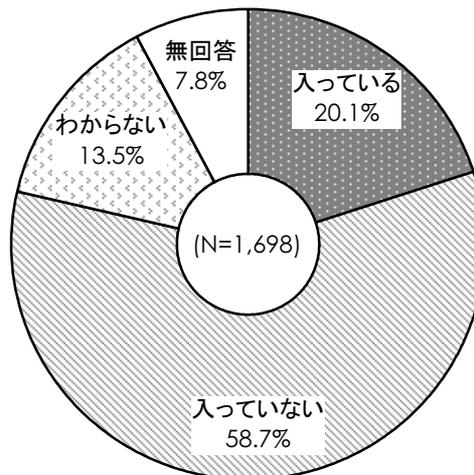
あなたは、その自主防災組織に入っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

〔回答者数=1,698〕

1 入っている	20.1%
2 入っていない	58.7%
3 わからない	13.5%
(無回答)	7.8%

自主防災組織への加入状況については、「入っていない」が58.7%と6割近くを占め、「入っている」は20.1%となっている。

〈 自主防災組織への加入状況 〉



(5) 自主防災組織に入っていない理由

問4-1 《問4で「2 入っていない」と答えた方に、おたずねします》

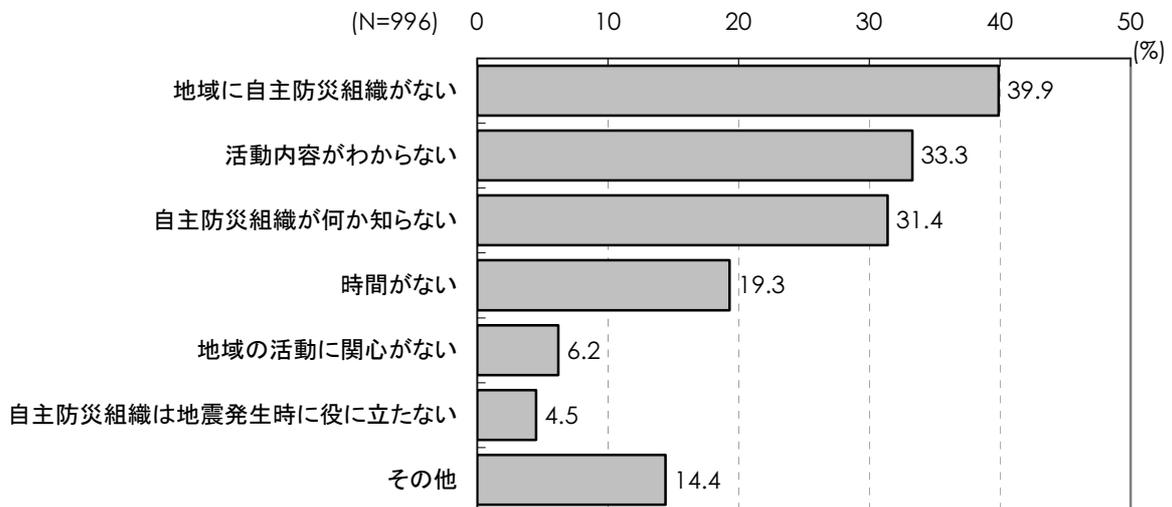
自主防災組織に入っていない理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

[回答者数=996]

1 地域に自主防災組織がない	39.9%
2 活動内容がわからない	33.3%
3 自主防災組織が何か知らない	31.4%
4 時間がない	19.3%
5 地域の活動に関心がない	6.2%
6 自主防災組織は地震発生時に役に立たない	4.5%
7 その他	14.4%

自主防災組織に入っていない理由については、「地域に自主防災組織がない」が39.9%と最も高く、次いで「活動内容がわからない」が33.3%、「自主防災組織が何か知らない」が31.4%、「時間がない」が19.3%などとなっている。

〈 自主防災組織に入っていない理由 〉



(6) 地震対策として特に力を入れてほしい対策

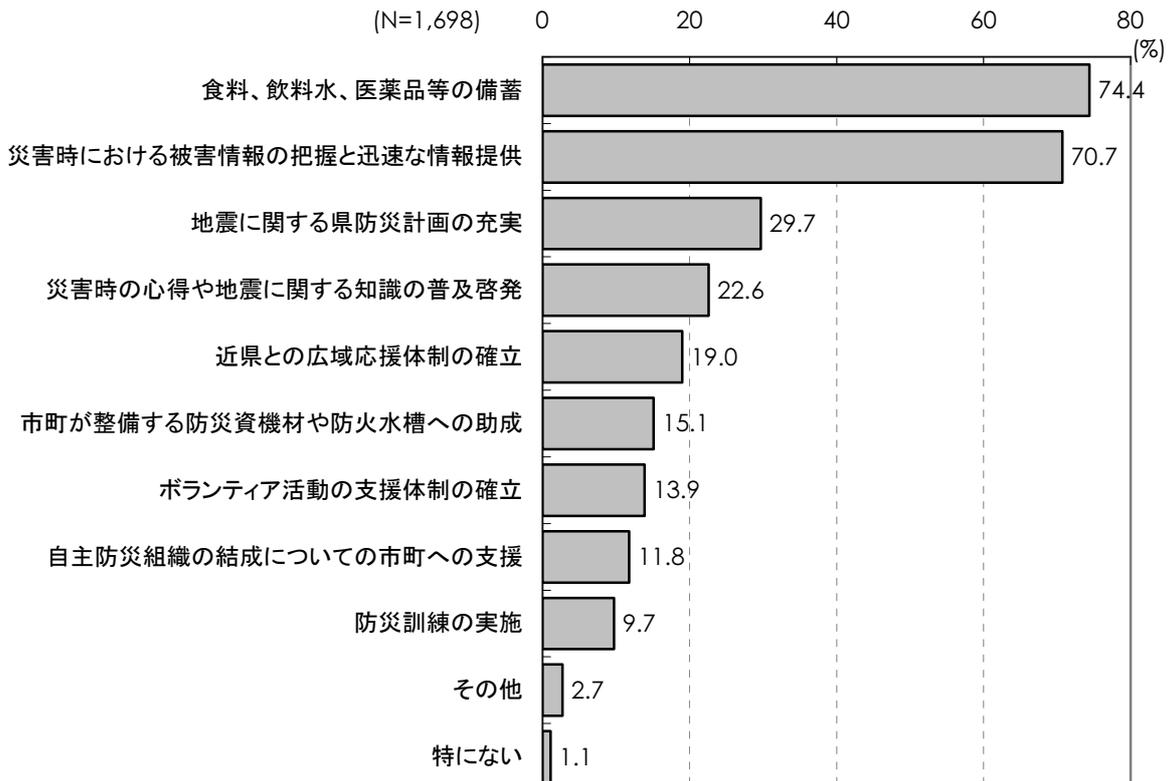
問5 県に対して、地震対策として特に力を入れてほしい対策はどのようなことですか。次の中から3つまで選んでください。

[回答者数=1,698]

1 食料、飲料水、医薬品等の備蓄	74.4%
2 災害時における被害情報の把握と迅速な情報提供	70.7%
3 地震に関する県防災計画の充実	29.7%
4 災害時の心得や地震に関する知識の普及啓発	22.6%
5 近県との広域応援体制の確立	19.0%
6 市町が整備する防災資機材や防火水槽への助成	15.1%
7 ボランティア活動の支援体制の確立	13.9%
8 自主防災組織の結成についての市町への支援	11.8%
9 防災訓練の実施	9.7%
10 その他	2.7%
11 特にない	1.1%

県に対して、地震対策として特に力を入れてほしい対策については、「食料、飲料水、医薬品等の備蓄」が74.4%と7割を超え最も高く、次いで「災害時における被害情報の把握と迅速な情報提供」が70.7%、「地震に関する県防災計画の充実」が29.7%、「災害時の心得や地震に関する知識の普及啓発」が22.6%などとなっている。

〈 地震対策として特に力を入れてほしい対策 〉



2 少子化対策について

(1) 結婚や家庭についての考え

問6 結婚や家庭についての次のそれぞれの考え方について、あなたはどのように思いますか。

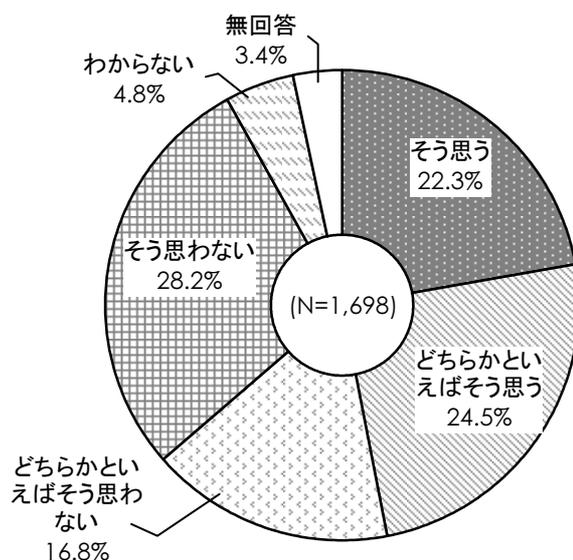
① 結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもよい

[回答者数=1,698]

1 そう思う	22.3%
2 どちらかといえばそう思う	24.5%
3 どちらかといえばそう思わない	16.8%
4 そう思わない	28.2%
5 わからない	4.8%
(無回答)	3.4%

“結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもよい”に対する考えについては、「そう思わない」が28.2%と3割近くを占め最も高く、これに「どちらかといえばそう思わない」の16.8%を合わせた【そう思わない】が45.0%となっている。一方、「そう思う」が22.3%で、「どちらかといえばそう思う」の24.5%を合わせた【そう思う】は46.8%となっており、【そう思う】が【そう思わない】をやや上回っている。

〈 “結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもよい” に対する考え 〉



問6 結婚や家庭についての次のそれぞれの考え方について、あなたはどのように思いますか。

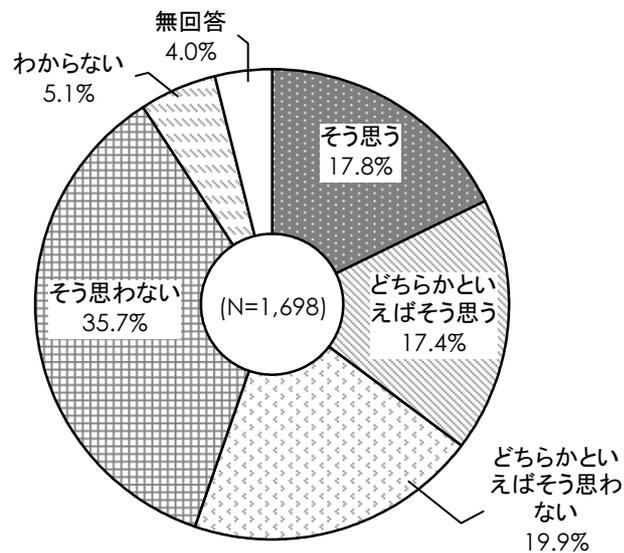
② 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない

〔回答者数=1,698〕

1	そう思う	17.8%
2	どちらかといえばそう思う	17.4%
3	どちらかといえばそう思わない	19.9%
4	そう思わない	35.7%
5	わからない	5.1%
	(無回答)	4.0%

“結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない”に対する考えについては、「そう思わない」が35.7%と3割を超え最も高く、これに「どちらかといえばそう思わない」の19.9%を合わせた【そう思わない】が55.6%と半数を超える。一方、「そう思う」が17.8%で、「どちらかといえばそう思う」の17.4%を合わせた【そう思う】は35.2%と3割強となっている。

〈 “結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない” に対する考え 〉



問6 結婚や家庭についての次のそれぞれの考え方について、あなたはどのように思いますか。

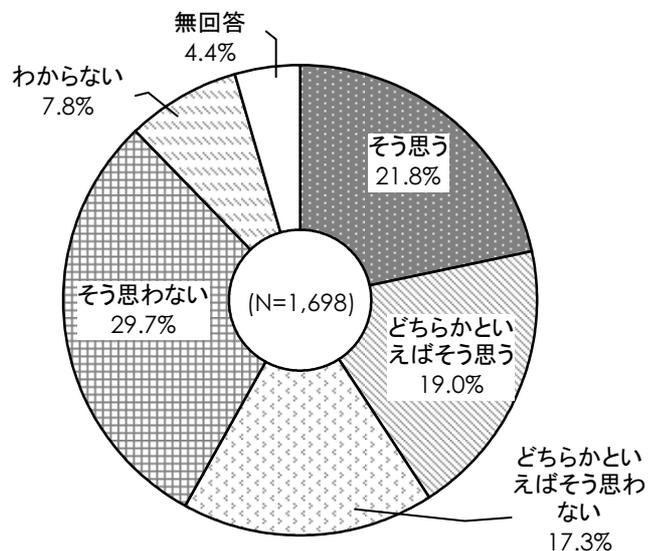
③ 結婚していなくても、子どもを持つのは自由である

〔回答者数=1,698〕

1	そう思う	21.8%
2	どちらかといえばそう思う	19.0%
3	どちらかといえばそう思わない	17.3%
4	そう思わない	29.7%
5	わからない	7.8%
	(無回答)	4.4%

“結婚していなくても、子どもを持つのは自由である”に対する考えについては、「そう思わない」が29.7%と約3割を占め最も高く、これに「どちらかといえばそう思わない」の17.3%を合わせた【そう思わない】が47.0%と半数近くを占める。一方、「そう思う」が21.8%で、「どちらかといえばそう思う」の19.0%を合わせた【そう思う】は40.8%と約4割となっている。

〈 “結婚していなくても、子どもを持つのは自由である” に対する考え 〉



問6 結婚や家庭についての次のそれぞれの考え方について、あなたはどのように思いますか。

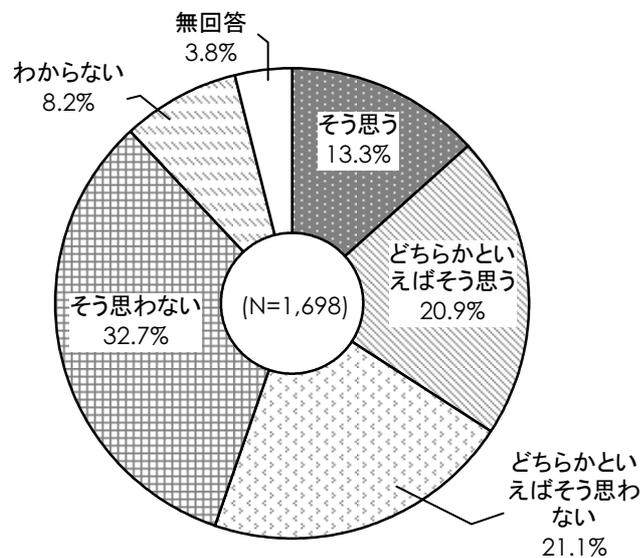
④ 子どもよりも、まず夫婦の生活を大切にすべきだ

〔回答者数=1,698〕

1	そう思う	13.3%
2	どちらかといえばそう思う	20.9%
3	どちらかといえばそう思わない	21.1%
4	そう思わない	32.7%
5	わからない	8.2%
	(無回答)	3.8%

“子どもよりも、まず夫婦の生活を大切にすべきだ”に対する考えについては、「そう思わない」が32.7%と3割を超え最も高く、これに「どちらかといえばそう思わない」の21.1%を合わせた【そう思わない】が53.8%と半数を超える。一方、「そう思う」が13.3%で、「どちらかといえばそう思う」の20.9%を合わせた【そう思う】は34.2%と3割強となっている。

〈 “子どもよりも、まず夫婦の生活を大切にすべきだ”に対する考え 〉



問6 結婚や家庭についての次のそれぞれの考え方について、あなたはどのように思いますか。

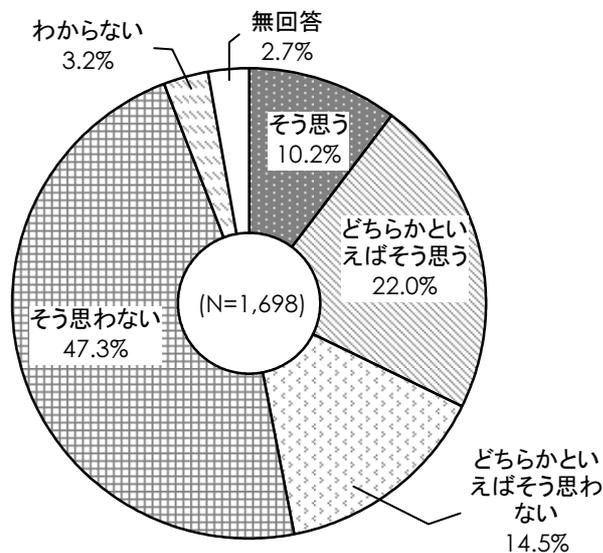
⑤ 男性は外で働き、女性は家庭を守るのが望ましい

〔回答者数=1,698〕

1 そう思う	10.2%
2 どちらかといえばそう思う	22.0%
3 どちらかといえばそう思わない	14.5%
4 そう思わない	47.3%
5 わからない	3.2%
(無回答)	2.7%

“男性は外で働き、女性は家庭を守るのが望ましい”に対する考えについては、「そう思わない」が47.3%と半数近くを占め最も高く、これに「どちらかといえばそう思わない」の14.5%を合わせた【そう思わない】が61.8%と6割を超える。一方、「そう思う」が10.2%で、「どちらかといえばそう思う」の22.0%を合わせた【そう思う】は32.2%と3割強となっている。

〈 “男性は外で働き、女性は家庭を守るのが望ましい”に対する考え 〉



問6 結婚や家庭についての次のそれぞれの考え方について、あなたはどのように思いますか。

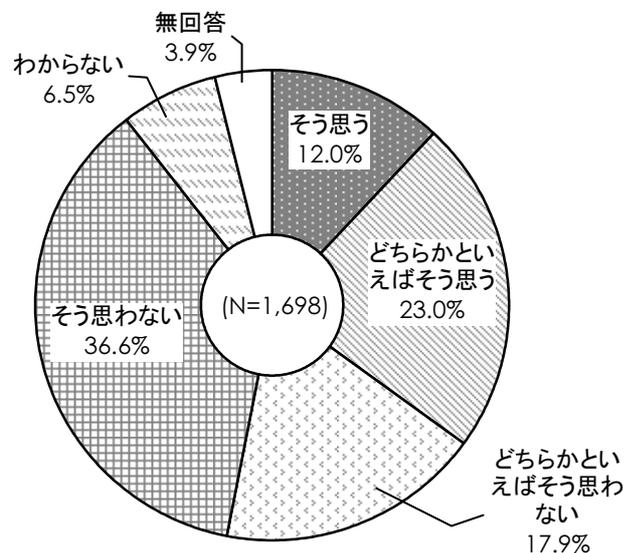
⑥ 家事との両立が難しければ、女性は仕事をすべきでない

〔回答者数=1,698〕

1 そう思う	12.0%
2 どちらかといえばそう思う	23.0%
3 どちらかといえばそう思わない	17.9%
4 そう思わない	36.6%
5 わからない	6.5%
(無回答)	3.9%

“家事との両立が難しければ、女性は仕事をすべきでない”に対する考えについては、「そう思わない」が36.6%と3割を超え最も高く、これに「どちらかといえばそう思わない」の17.9%を合わせた【そう思わない】が54.5%と半数を超える。一方、「そう思う」が12.0%で、「どちらかといえばそう思う」の23.0%を合わせた【そう思う】は35.0%と3割強となっている。

〈 “家事との両立が難しければ、女性は仕事をすべきでない” に対する考え 〉



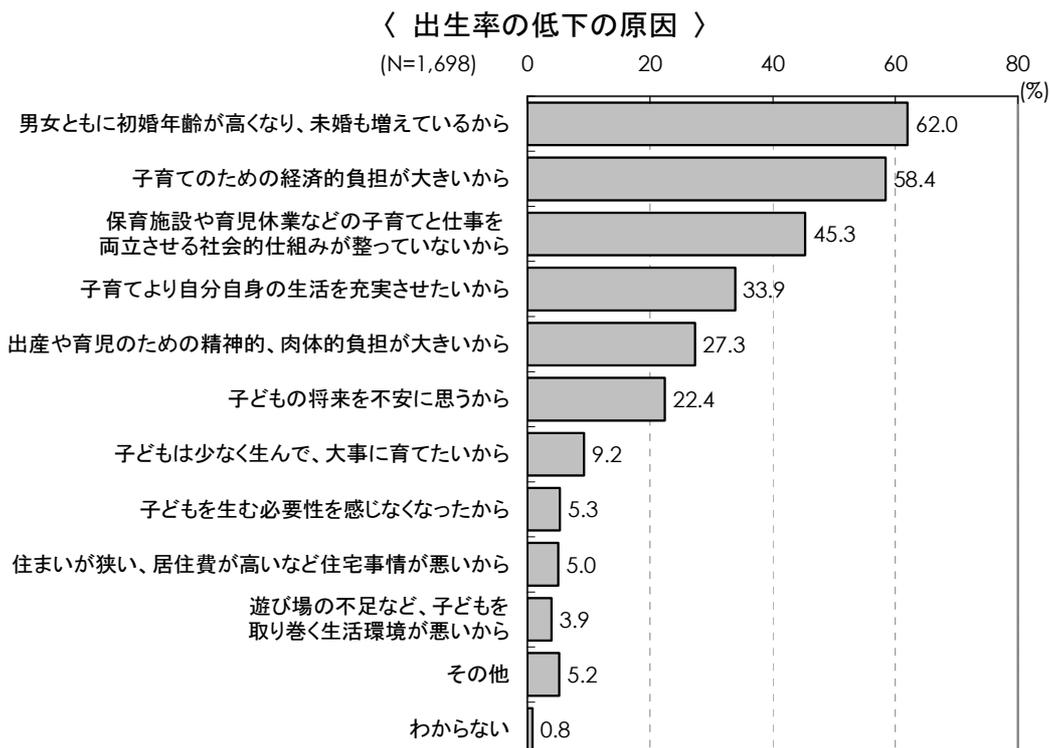
(2) 出生率の低下の原因

問7 長期的に出生率が低下し子どもの数が減っています。あなたは、出生率の低下の原因は何だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

[回答者数=1,698]

1 男女ともに初婚年齢が高くなり、未婚も増えているから	62.0%
2 子育てのための経済的負担が大きいから	58.4%
3 保育施設や育児休業などの子育てと仕事を両立させる社会的仕組みが整っていないから	45.3%
4 子育てより自分自身の生活を充実させたいから	33.9%
5 出産や育児のための精神的、肉体的負担が大きいから	27.3%
6 子どもの将来を不安に思うから	22.4%
7 子どもは少なく生んで、大事に育てたいから	9.2%
8 子どもを生む必要性を感じなくなったから	5.3%
9 住まいが狭い、居住費が高いなど住宅事情が悪いから	5.0%
10 遊び場の不足など子どもを取り巻く生活環境が悪いから	3.9%
11 その他	5.2%
12 わからない	0.8%

出生率の低下の原因については、「男女ともに初婚年齢が高くなり、未婚も増えているから」が62.0%と6割を超え最も高く、次いで「子育てのための経済的負担が大きいから」が58.4%、「保育施設や育児休業などの子育てと仕事を両立させる社会的仕組みが整っていないから」が45.3%、「子育てより自分自身の生活を充実させたいから」が33.9%などとなっている。



(3) 子育て支援施策の中で重要だと思う施策

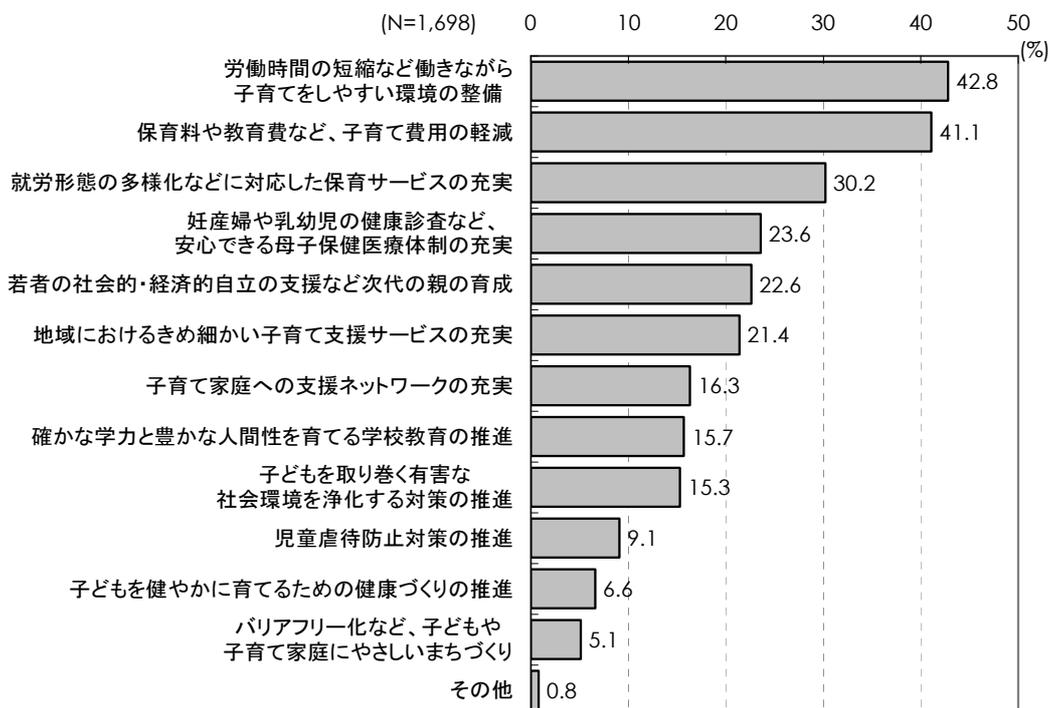
問8 (1) 以下の具体的な子育て支援施策について、あなたが、最も重要だと思う施策を、次の中からそれぞれ3つまで選んで回答欄に番号を記入してください。

[回答者数=1,698]

1	労働時間の短縮など働きながら子育てをしやすい環境の整備	42.8%
2	保育料や教育費など、子育て費用の軽減	41.1%
3	就労形態の多様化などに対応した保育サービスの充実	30.2%
4	妊産婦や乳幼児の健康診査など、安心できる母子保健医療体制の充実	23.6%
5	若者の社会的・経済的自立の支援など次代の親の育成	22.6%
6	地域におけるきめ細かい子育て支援サービスの充実	21.4%
7	子育て家庭への支援ネットワークの充実	16.3%
8	確かな学力と豊かな人間性を育てる学校教育の推進	15.7%
9	子どもを取り巻く有害な社会環境を浄化する対策の推進	15.3%
10	児童虐待防止対策の推進	9.1%
11	子どもを健やかに育てるための健康づくりの推進	6.6%
12	バリアフリー化など、子どもや子育て家庭にやさしいまちづくり	5.1%
13	その他	0.8%

子育て支援施策の中で重要だと思う施策については、「労働時間の短縮など働きながら子育てをしやすい環境の整備」が42.8%と4割を超え最も高く、次いで「保育料や教育費など、子育て費用の軽減」が41.1%、「就労形態の多様化などに対応した保育サービスの充実」が30.2%などとなっている。

〈 子育て支援施策の中で重要だと思う施策 〉



(4) 子育て支援施策の中で充実度に不満がある施策

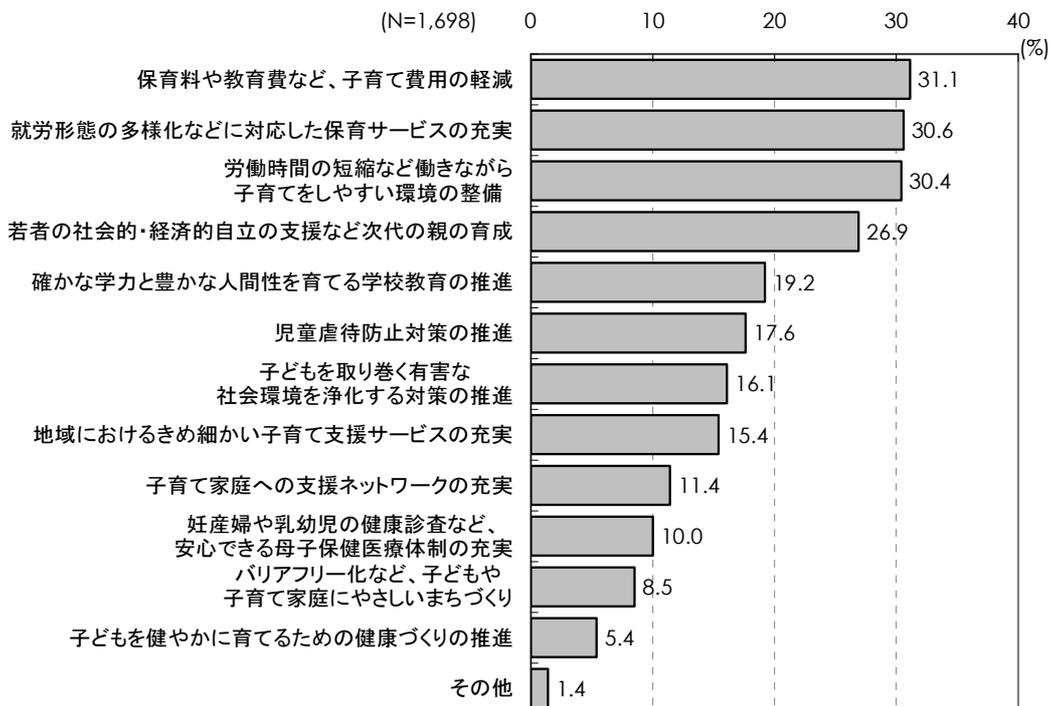
問8 (2) 以下の具体的な子育て支援施策について、あなたが、充実度に不満がある施策を、次の中からそれぞれ3つまで選んで回答欄に番号を記入してください。

[回答者数=1,698]

1	保育料や教育費など、子育て費用の軽減	31.1%
2	就労形態の多様化などに対応した保育サービスの充実	30.6%
3	労働時間の短縮など働きながら子育てをしやすい環境の整備	30.4%
4	若者の社会的・経済的自立の支援など次代の親の育成	26.9%
5	確かな学力と豊かな人間性を育てる学校教育の推進	19.2%
6	児童虐待防止対策の推進	17.6%
7	子どもを取り巻く有害な社会環境を浄化する対策の推進	16.1%
8	地域におけるきめ細かい子育て支援サービスの充実	15.4%
9	子育て家庭への支援ネットワークの充実	11.4%
10	妊産婦や乳幼児の健康診査など、安心できる母子保健医療体制の充実	10.0%
11	バリアフリー化など、子どもや子育て家庭にやさしいまちづくり	8.5%
12	子どもを健やかに育てるための健康づくりの推進	5.4%
13	その他	1.4%

子育て支援施策の中で充実度に不満がある施策については、「保育料や教育費など、子育て費用の軽減」が31.1%と最も高く、次いで「就労形態の多様化などに対応した保育サービスの充実」が30.6%、「労働時間の短縮など働きながら子育てをしやすい環境の整備」が30.4%、「若者の社会的・経済的自立の支援など次代の親の育成」が26.9%などとなっている。

〈 子育て支援施策の中で充実度に不満がある施策 〉



(5) 子育てをとりまく環境や施策

問9 現在の子育てをとりまく環境や施策について、あなたはどのように思いますか。

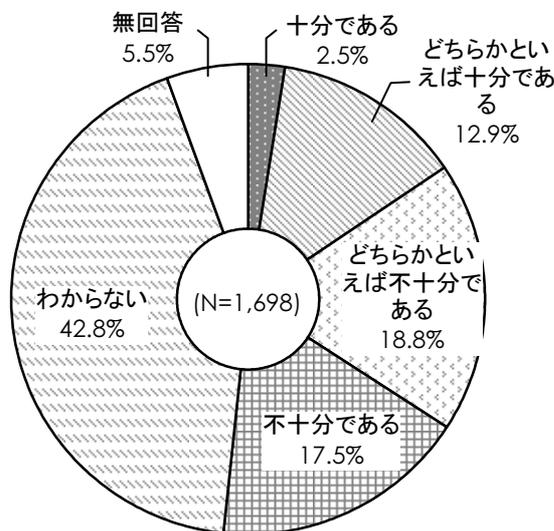
① 身近に子育て支援サービスがある

[回答者数=1,698]

1 十分である	2.5%
2 どちらかといえば十分である	12.9%
3 どちらかといえば不十分である	18.8%
4 不十分である	17.5%
5 わからない	42.8%
(無回答)	5.5%

現在の子育てをとりまく環境や施策として、“身近に子育て支援サービスがある”の状況については、「どちらかといえば不十分である」が18.8%と2割近くを占め、これに「不十分である」の17.5%を合わせた【不十分である】が36.3%と3割を超える。一方、「十分である」が2.5%で、「どちらかといえば十分である」の12.9%を合わせた【十分である】は15.4%と2割未満となっている。

〈 “身近に子育て支援サービスがある” の状況について 〉



問9 現在の子育てをとりまく環境や施策について、あなたはどのように思いますか。

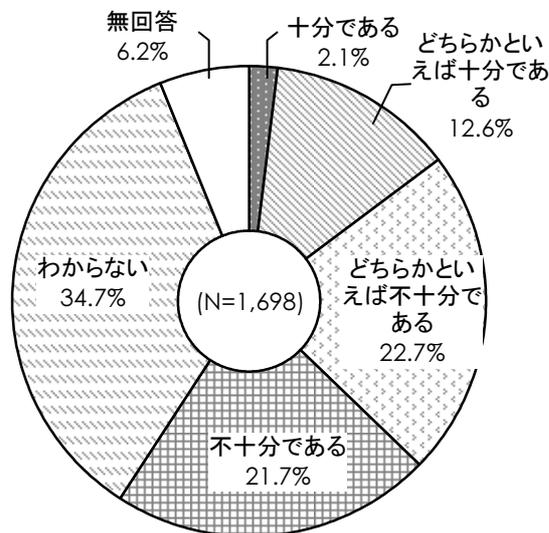
② 子育てについて困ったときに相談したり支えあう体制がある

〔回答者数=1,698〕

1 十分である	2.1%
2 どちらかといえば十分である	12.6%
3 どちらかといえば不十分である	22.7%
4 不十分である	21.7%
5 わからない	34.7%
(無回答)	6.2%

現在の子育てをとりまく環境や施策として、“子育てについて困ったときに相談したり支えあう体制がある”の状況については、「どちらかといえば不十分である」が22.7%と2割を超え、これに「不十分である」の21.7%を合わせた【不十分である】が44.4%と4割を超える。一方、「十分である」が2.1%で、「どちらかといえば十分である」の12.6%を合わせた【十分である】は14.7%と2割未満となっている。

〈 “子育てについて困ったときに相談したり支えあう体制がある”の状況について 〉



問9 現在の子育てをとりまく環境や施策について、あなたはどのように思いますか。

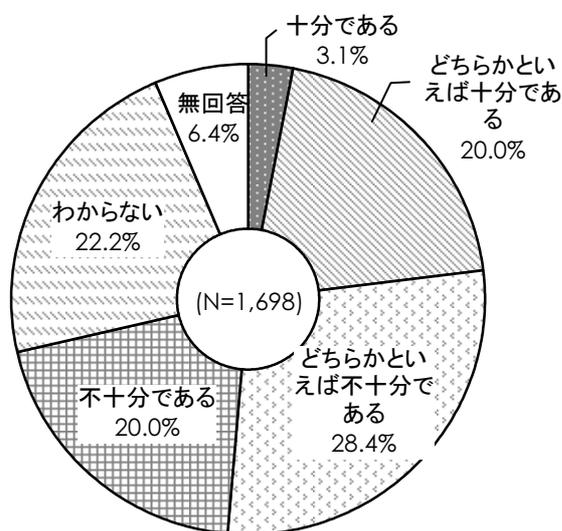
③ 子どもや子育て家庭にやさしい生活環境である

〔回答者数=1,698〕

1 十分である	3.1%
2 どちらかといえば十分である	20.0%
3 どちらかといえば不十分である	28.4%
4 不十分である	20.0%
5 わからない	22.2%
(無回答)	6.4%

現在の子育てをとりまく環境や施策として、“子どもや子育て家庭にやさしい生活環境である”の状況については、「どちらかといえば不十分である」が28.4%と3割近くを占め最も高く、これに「不十分である」の20.0%を合わせた【不十分である】が48.4%と半数近くを占める。一方、「十分である」が3.1%で、「どちらかといえば十分である」の20.0%を合わせた【十分である】は23.1%と3割未満となっている。

〈 “子どもや子育て家庭にやさしい生活環境である”の状況について 〉



問9 現在の子育てをとりまく環境や施策について、あなたはどのように思いますか。

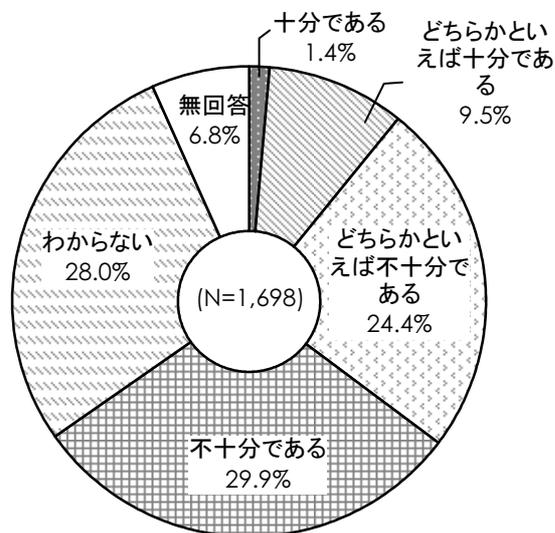
④ 働き方やライフスタイルに応じた保育サービスを受けられる

〔回答者数=1,698〕

1 十分である	1.4%
2 どちらかといえば十分である	9.5%
3 どちらかといえば不十分である	24.4%
4 不十分である	29.9%
5 わからない	28.0%
(無回答)	6.8%

現在の子育てをとりまく環境や施策として、“働き方やライフスタイルに応じた保育サービスを受けられる”の状況については、「不十分である」が29.9%と約3割を占め最も高く、これに「どちらかといえば不十分である」の24.4%を合わせた【不十分である】が54.3%と半数を超える。一方、「十分である」が1.4%で、「どちらかといえば十分である」の9.5%を合わせた【十分である】は10.9%と約1割となっている。

〈 “働き方やライフスタイルに応じた保育サービスを受けられる” の状況について 〉



問9 現在の子育てをとりまく環境や施策について、あなたはどのように思いますか。

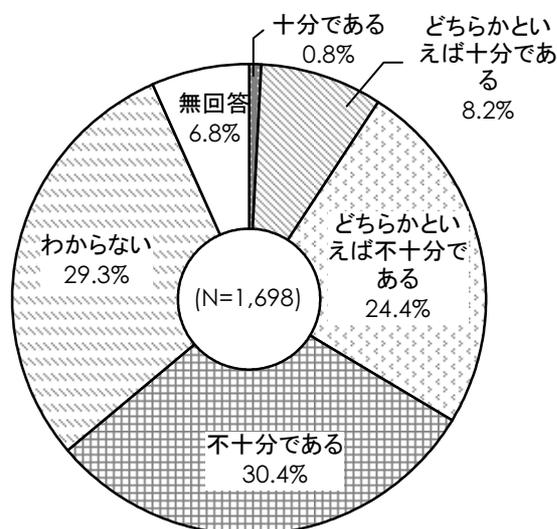
⑤ ワークライフバランス（仕事と生活の調和）が図られている

〔回答者数=1,698〕

1 十分である	0.8%
2 どちらかといえば十分である	8.2%
3 どちらかといえば不十分である	24.4%
4 不十分である	30.4%
5 わからない	29.3%
(無回答)	6.8%

現在の子育てをとりまく環境や施策として、“ワークライフバランス（仕事と生活の調和）が図られている”の状況については、「不十分である」が30.4%と約3割を占め最も高く、これに「どちらかといえば不十分である」の24.4%を合わせた【不十分である】が54.8%と半数を超える。一方、「十分である」が0.8%で、「どちらかといえば十分である」の8.2%を合わせた【十分である】は9.0%と1割未満となっている。

〈 “ワークライフバランス（仕事と生活の調和）が図られている”の状況について 〉



問9 現在の子育てをとりまく環境や施策について、あなたはどのように思いますか。

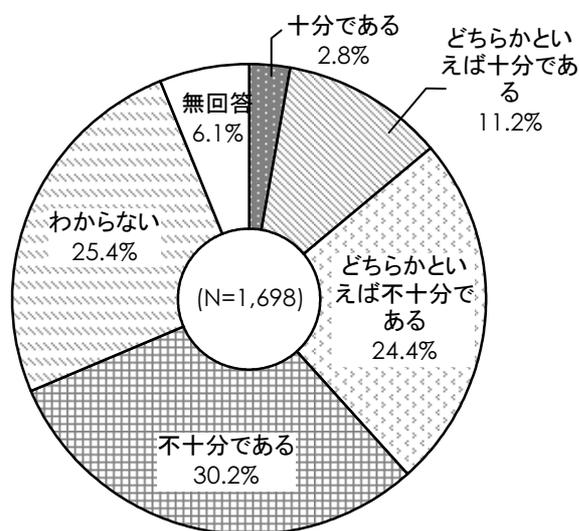
⑥ 子育てにかかる費用について社会的支援がなされている

〔回答者数=1,698〕

1 十分である	2.8%
2 どちらかといえば十分である	11.2%
3 どちらかといえば不十分である	24.4%
4 不十分である	30.2%
5 わからない	25.4%
(無回答)	6.1%

現在の子育てをとりまく環境や施策として、“子育てにかかる費用について社会的支援がなされている”の状況については、「不十分である」が30.2%と約3割を占め最も高く、これに「どちらかといえば不十分である」の24.4%を合わせた【不十分である】が54.6%と半数を超える。一方、「十分である」が2.8%で、「どちらかといえば十分である」の11.2%を合わせた【十分である】は14.0%と2割未満となっている。

〈 “子育てにかかる費用について社会的支援がなされている”の状況について 〉



(6) 子育て・子育てを支える社会を目指していくために地域での充実を期待すること

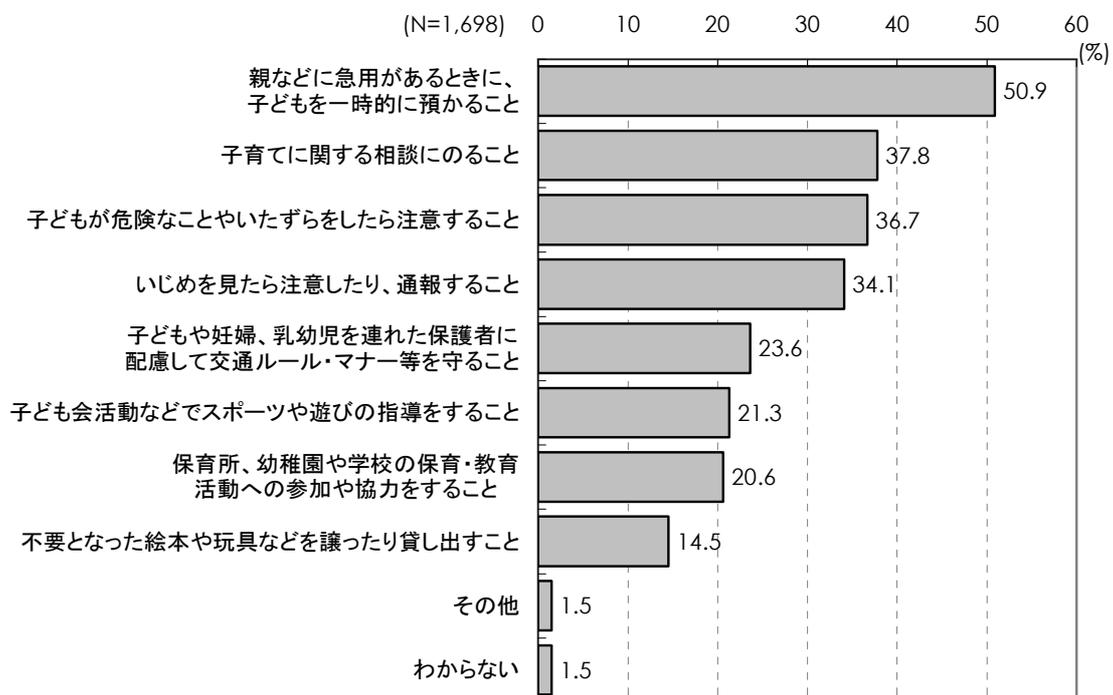
問 10 (1) 社会全体が一体となって子育て・子育てを支える社会を目指していくために、以下の活動について、地域での充実を期待することを次の中からそれぞれ3つまで選んで回答欄に番号を記入してください。

[回答者数=1,698]

1	親などに急用があるときに、子どもを一時的に預かること	50.9%
2	子育てに関する相談にのること	37.8%
3	子どもが危険なことやいたずらをしたら注意すること	36.7%
4	いじめを見たら注意したり、通報すること	34.1%
5	子どもや妊婦、乳幼児を連れた保護者に配慮して交通ルール・マナー等を守ること	23.6%
6	子ども会活動などでスポーツや遊びの指導をすること	21.3%
7	保育所、幼稚園や学校の保育・教育活動への参加や協力をするこ と	20.6%
8	不要となった絵本や玩具などを譲ったり貸し出すこと	14.5%
9	その他	1.5%
10	わからない	1.5%

子育て・子育てを支える社会を目指していくために地域での充実を期待することについては、「親などに急用があるときに、子どもを一時的に預かること」が50.9%と約5割で最も高く、次いで「子育てに関する相談にのること」が37.8%、「子どもが危険なことやいたずらをしたら注意すること」が36.7%、「いじめを見たら注意したり、通報すること」が34.1%などとなっている。

〈 子育て・子育てを支える社会を目指していくために地域での充実を期待すること 〉



(7) 子育て・子育てを支える社会を目指していくためにしてみたい（している）こと

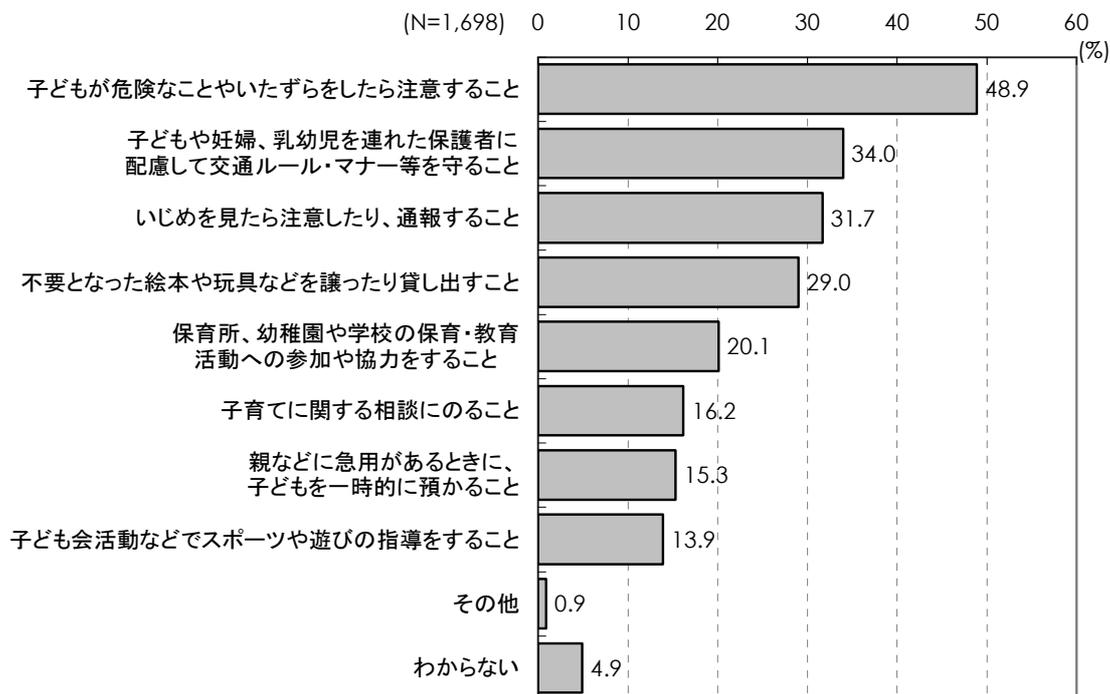
問 10 (2) 社会全体が一体となって子育て・子育てを支える社会を目指していくために、以下の活動について、あなたがしてみたい（している）ことを次の中からそれぞれ3つまで選んで回答欄に番号を記入してください。

[回答者数=1,698]

1	子どもが危険なことやいたずらをしたら注意すること	48.9%
2	子どもや妊婦、乳幼児を連れた保護者に配慮して交通ルール・マナー等を守ること	34.0%
3	いじめを見たら注意したり、通報すること	31.7%
4	不要となった絵本や玩具などを譲ったり貸し出すこと	29.0%
5	保育所、幼稚園や学校の保育・教育活動への参加や協力をするこ と	20.1%
6	子育てに関する相談にのること	16.2%
7	親などに急用があるときに、子どもを一時的に預かること	15.3%
8	子ども会活動などでスポーツや遊びの指導をすること	13.9%
9	その他	0.9%
10	わからない	4.9%

子育て・子育てを支える社会を目指していくためにしてみたい（している）ことについては、「子どもが危険なことやいたずらをしたら注意すること」が48.9%と5割近くを占め最も高く、次いで「子どもや妊婦、乳幼児を連れた保護者に配慮して交通ルール・マナー等を守ること」が34.0%、「いじめを見たら注意したり、通報すること」が31.7%、「不要となった絵本や玩具などを譲ったり貸し出すこと」が29.0%などとなっている。

〈 子育て・子育てを支える社会を目指していくためにしてみたい（している）こと 〉



(8) 育児をしながら働き続けるために必要だと思う条件・制度

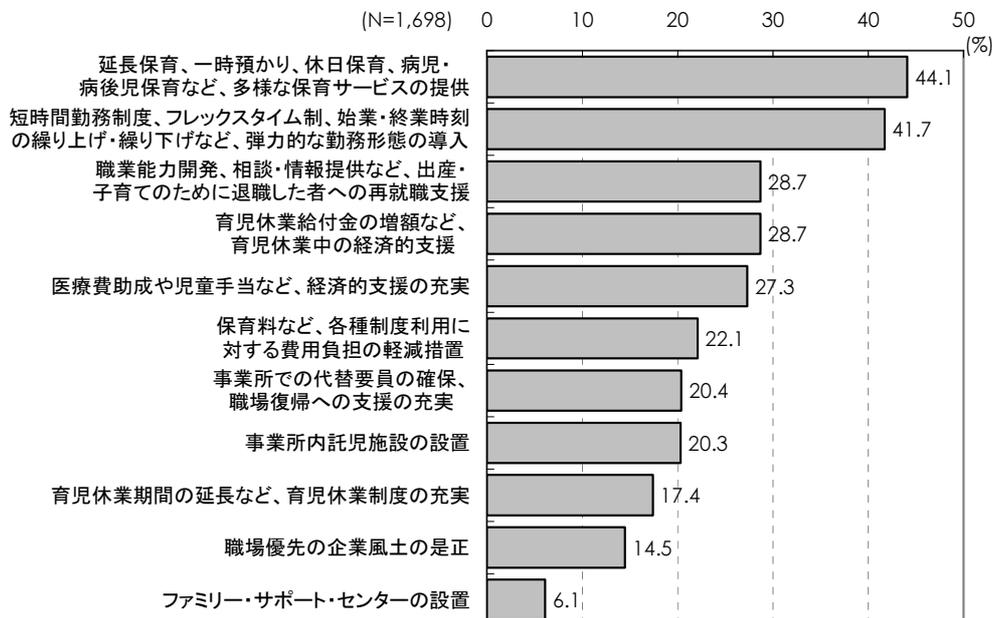
問 11 あなたは、育児をしながら働き続けるためには、どのような条件や制度が必要と思いますか。次の中から3つまで選んでください。

[回答者数=1,698]

1 延長保育、一時預かり、休日保育、病児・病後児保育など、多様な保育サービスの提供	44.1%
2 短時間勤務制度、フレックスタイム制、始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げなど、弾力的な勤務形態の導入	41.7%
3 職業能力開発、相談・情報提供など、出産・子育てのために退職した者への再就職支援	28.7%
4 育児休業給付金の増額など、育児休業中の経済的支援	28.7%
5 医療費助成や児童手当など、経済的支援の充実	27.3%
6 保育料など、各種制度利用に対する費用負担の軽減措置	22.1%
7 事業所での代替要員の確保、職場復帰への支援の充実	20.4%
8 事業所内託児施設の設置	20.3%
9 育児休業期間の延長など、育児休業制度の充実	17.4%
10 職場優先の企業風土の是正	14.5%
11 ファミリー・サポート・センターの設置	6.1%

育児をしながら働き続けるために必要だと思う条件・制度については、「延長保育、一時預かり、休日保育、病児・病後児保育など、多様な保育サービスの提供」が44.1%と4割を超え最も高く、次いで「短時間勤務制度、フレックスタイム制、始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げなど、弾力的な勤務形態の導入」が41.7%、「職業能力開発、相談・情報提供など、出産・子育てのために退職した者への再就職支援」及び「育児休業給付金の増額など、育児休業中の経済的支援」が28.7%などとなっている。

〈 育児をしながら働き続けるために必要だと思う条件・制度 〉



3 がん対策について

(1) がんに対する印象

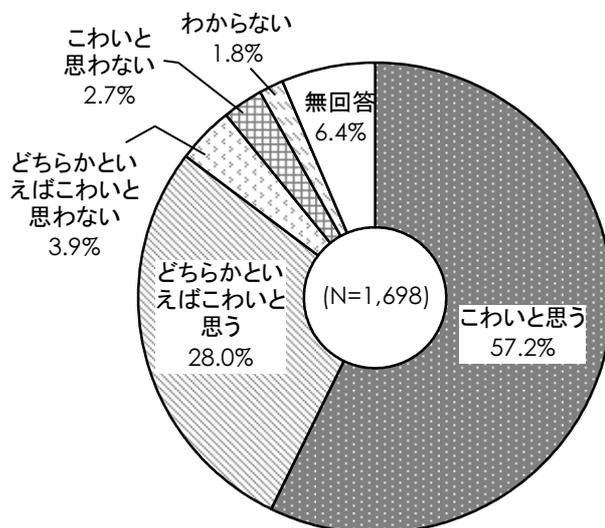
問 12 あなたは、がんについてどのような印象をもっていますか。次の中から1つだけ選んでください。

[回答者数=1,698]

1	こわいと思う	57.2%
2	どちらかといえば、こわいと思う	28.0%
3	どちらかといえば、こわいと思わない	3.9%
4	こわいと思わない	2.7%
5	わからない	1.8%
	(無回答)	6.4%

がんに対する印象については、「こわいと思う」が57.2%と半数を超え最も高く、これに「どちらかといえばこわいと思う」の28.0%を合わせた【こわいと思う】が85.2%と8割を超える。一方、「どちらかといえばこわいと思わない」が3.9%で、「こわいと思わない」の2.7%を合わせた【こわいと思わない】は6.6%と1割未満となっている。

〈 がんに対する印象 〉



(2) がんをこわいと思う理由

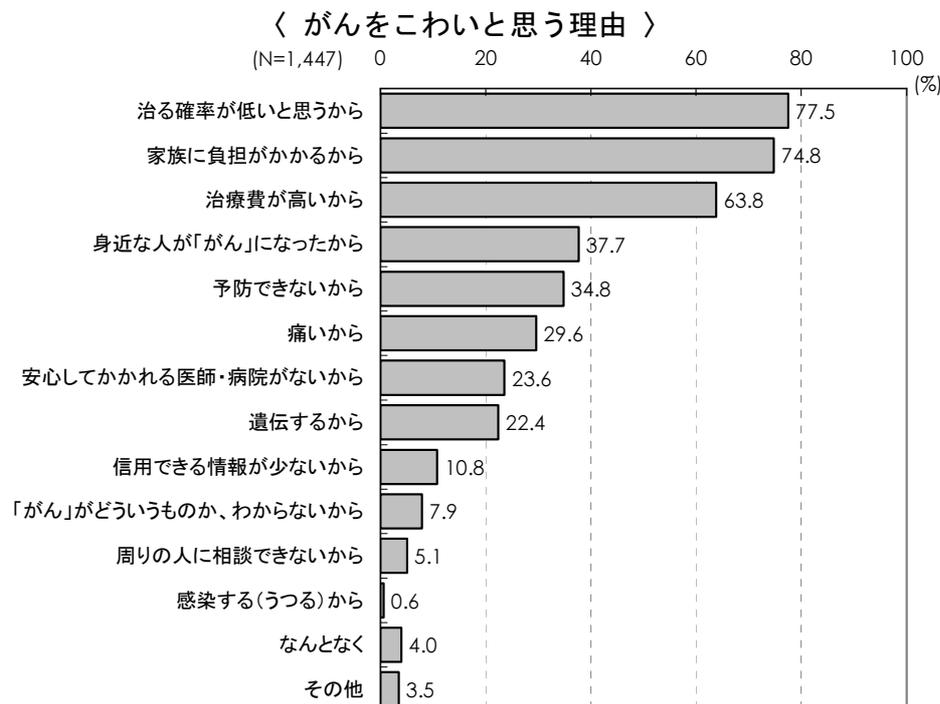
問 12-1 《問 12 で「1 こわいと思う」または「2 どちらかといえば、こわいと思う」と答えた方に、おたずねします》

なぜ、こわいと思いますか。その理由として、次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

[回答者数=1,447]

1 治る確率が低いと思うから	77.5%
2 家族に負担がかかるから	74.8%
3 治療費が高いから	63.8%
4 身近な人が「がん」になったから	37.7%
5 予防できないから	34.8%
6 痛いから	29.6%
7 安心してかかれる医師・病院がないから	23.6%
8 遺伝するから	22.4%
9 信用できる情報が少ないから	10.8%
10 「がん」がどういうものか、わからないから	7.9%
11 周りの人に相談できないから	5.1%
12 感染する(うつる)から	0.6%
13 なんとなく	4.0%
14 その他	3.5%

がんをこわいと思う理由については、「治る確率が低いと思うから」が 77.5%と 8割近くを占め最も高く、次いで「家族に負担がかかるから」が 74.8%、「治療費が高いから」が 63.8%、「身近な人が「がん」になったから」が 37.7%などとなっている。



(3) 家族、親戚や親しい同僚などの身近な人でがんにかかった人の有無

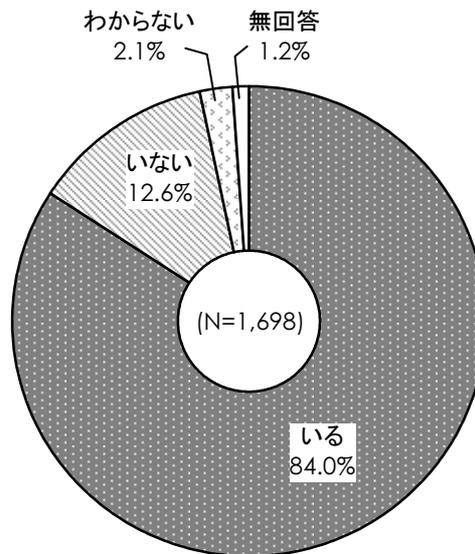
問 13 あなた自身を含め、家族、親戚や親しい同僚など身近な人で、がんにかかった人がいますか。次の中から1つだけ選んでください。

[回答者数=1,698]

1	いる	84.0%
2	いない	12.6%
3	わからない	2.1%
	(無回答)	1.2%

家族、親戚や親しい同僚などの身近な人でがんにかかった人については、「いる」が84.0%と8割を超え、「いない」は12.6%となっている。

〈 家族、親戚や親しい同僚などの身近な人でがんにかかった人の有無 〉



(4) 家族や友人などの身近な人とがんについて話す機会

問 14 あなたは、家族や友人など身近な人とがんについて話す機会がありますか。次の中から1つだけ選んでください。

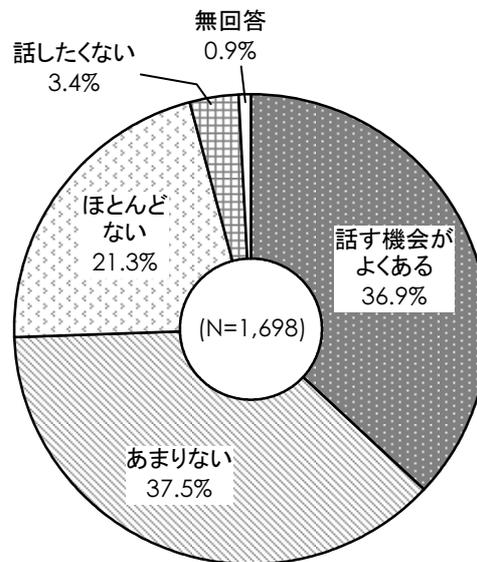
(例：がん検診やがんを予防する生活習慣、がんの治療に関すること)

[回答者数=1,698]

1 話す機会がよくある	36.9%
2 あまりない	37.5%
3 ほとんどない	21.3%
4 話したくない	3.4%
(無回答)	0.9%

家族や友人などの身近な人とがんについて話す機会については、「あまりない」が 37.5%と4割近くを占め最も高く、これに「ほとんどない」の 21.3%を合わせた【ない】が 58.8%と半数を超える。一方、「話す機会がよくある」は 36.9%となっている。

〈 家族や友人などの身近な人とがんについて話す機会 〉



(5) がんと診断された場合の治療や療養生活についての相談先

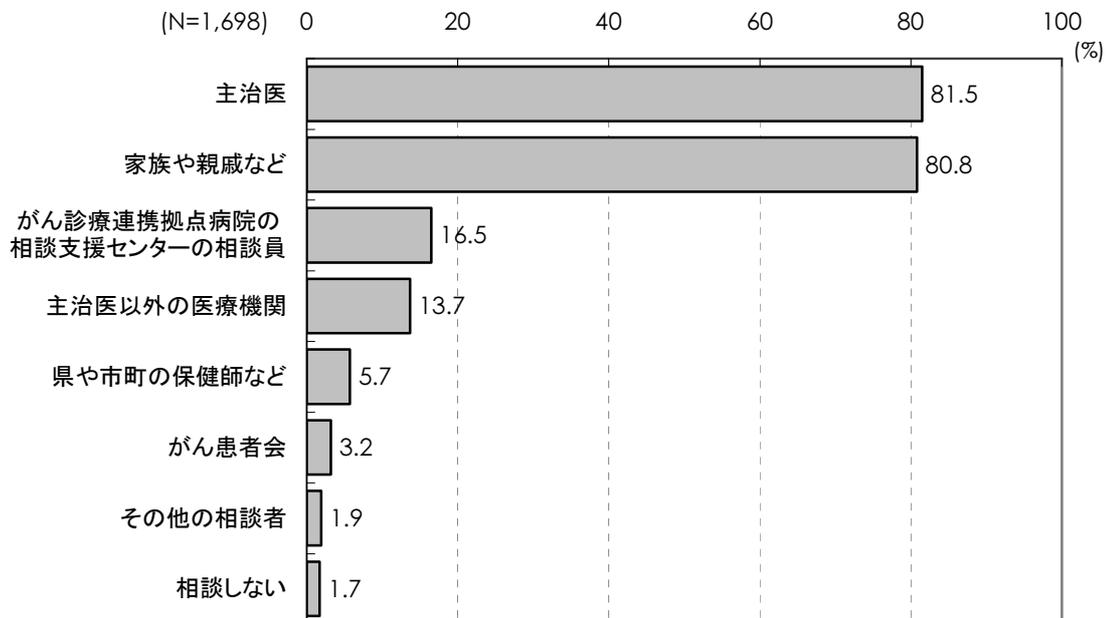
問 15 あなたや、あなたの家族が「がん」と診断された場合、治療や療養生活のことについてどこに相談しますか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

[回答者数=1,698]

1	主治医	81.5%
2	家族や親戚など	80.8%
3	がん診療連携拠点病院の相談支援センターの相談員	16.5%
4	主治医以外の医療機関	13.7%
5	県や市町の保健師など	5.7%
6	がん患者会	3.2%
7	その他の相談者	1.9%
8	相談しない	1.7%

がんと診断された場合の治療や療養生活についての相談先については、「主治医」が81.5%、次いで「家族や親戚など」が80.8%とそれぞれ8割を超えて高くなっている。そのほか、「がん診療連携拠点病院の相談支援センターの相談員」が16.5%、「主治医以外の医療機関」が13.7%などとなっている。

〈 がんと診断された場合の治療や療養生活についての相談先 〉



(6) がん検診は、早期発見・早期治療につながる重要な検査だと思うかについて

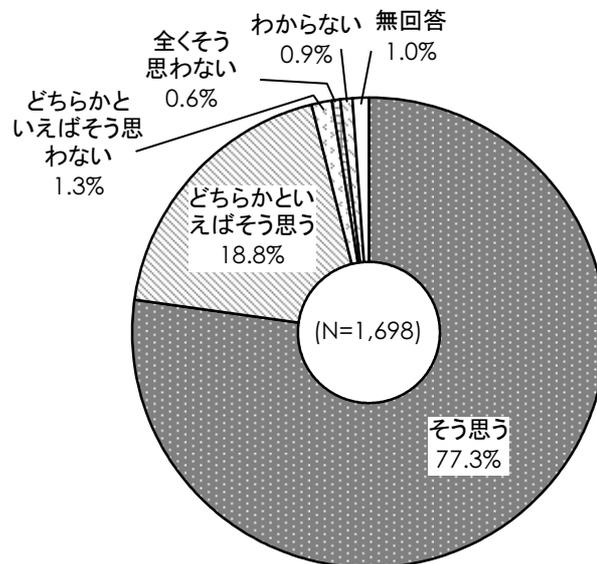
問 16 がん検診は、がんの早期発見、早期治療につながる重要な検査だと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

[回答者数=1,698]

1	そう思う	77.3%
2	どちらかといえば、そう思う	18.8%
3	どちらかといえば、そう思わない	1.3%
4	全くそう思わない	0.6%
5	わからない	0.9%
	(無回答)	1.0%

がん検診は、早期発見・早期治療につながる重要な検査だと思うかどうかについては、「そう思う」が77.3%と8割近くを占め最も高く、これに「どちらかといえばそう思う」の18.8%を合わせた【そう思う】が96.1%とほとんどを占める。一方、「どちらかといえばそう思わない」が1.3%で、「全くそう思わない」の0.6%を合わせた【そう思わない】は1.9%となっている。

〈 がん検診は、早期発見・早期治療につながる重要な検査だと思うかについて 〉



(7) 「セカンド・オピニオン」の認知度

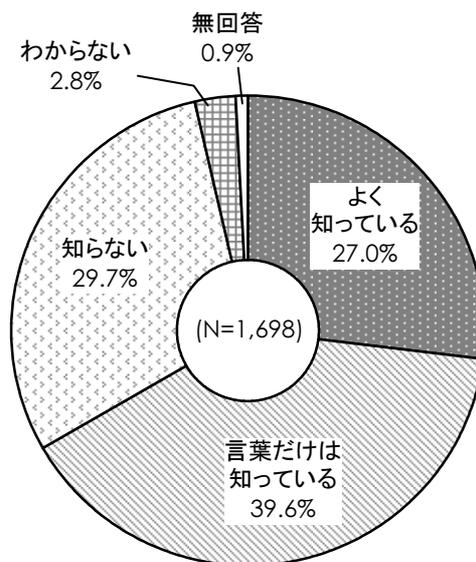
問 17 あなたは、がん治療にあたって「セカンド・オピニオン」という方法があることを知っていましたか。次の中から1つだけ選んでください。

[回答者数=1,698]

1 よく知っている	27.0%
2 言葉だけは知っている	39.6%
3 知らない	29.7%
4 わからない	2.8%
(無回答)	0.9%

「セカンド・オピニオン」の認知度については、「言葉だけは知っている」が39.6%と約4割を占め最も高く、これに「よく知っている」の27.0%を合わせた【知っている】が66.6%と6割を超える。一方、「知らない」が29.7%と約3割を占める。

〈 「セカンド・オピニオン」の認知度 〉



(8) 「緩和ケア」について

問 18 「緩和ケア」について、次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

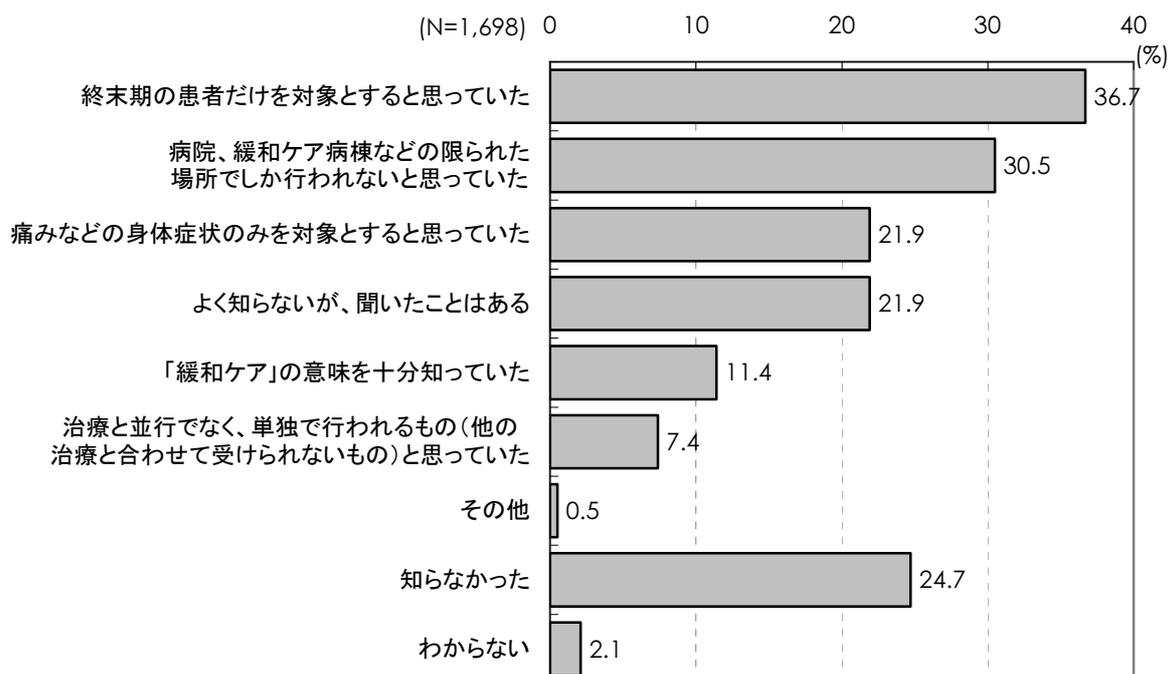
[回答者数=1,698]

1 終末期の患者だけを対象とと思っていた	36.7%
2 病院、緩和ケア病棟などの限られた場所でしか行われな いと 思っていた	30.5%
3 痛みなどの身体症状のみを対象とと思っていた	21.9%
4 よく知らないが、聞いたことはある	21.9%
5 「緩和ケア」の意味を十分知っていた	11.4%
6 治療と並行でなく、単独で行われるもの（他の治療と合 わせて受 けられないもの）と 思っていた	7.4%
7 その他	0.5%
8 知らなかった	24.7%
9 わからない	2.1%

「緩和ケア」については、「終末期の患者だけを対象とと思っていた」が 36.7%と 3割を超え最も高く、次いで「病院、緩和ケア病棟などの限られた場所でしか行われな
いと
思っていた」が 30.5%、「痛みなどの身体症状のみを対象とと思っていた」及び「よく知らない
が、聞いたことはある」が 21.9%などとなっている。

また、「知らなかった」が 24.7%と 2割を超える。

〈 「緩和ケア」について 〉



4 地域医療の充実について

(1) 「かかりつけ医」の有無

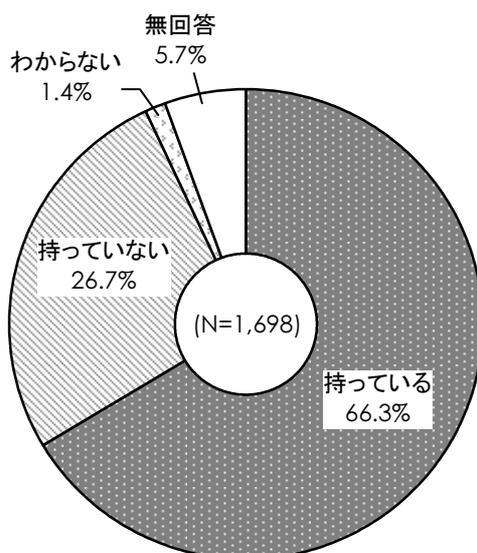
問 19 あなたは、日ごろ病気やけがの時に診察を受けることを決めている「かかりつけ医」を持っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

[回答者数=1,698]

1 持っている	66.3%
2 持っていない	26.7%
3 わからない	1.4%
(無回答)	5.7%

「かかりつけ医」については、「持っている」が66.3%と6割を超え、「持っていない」は26.7%となっている。

〈 「かかりつけ医」の有無 〉



(2) かかりつけ医のいる施設の種類の種類

問 19-1 《問 19 で「1 持っている」と答えた方に、おたずねします》

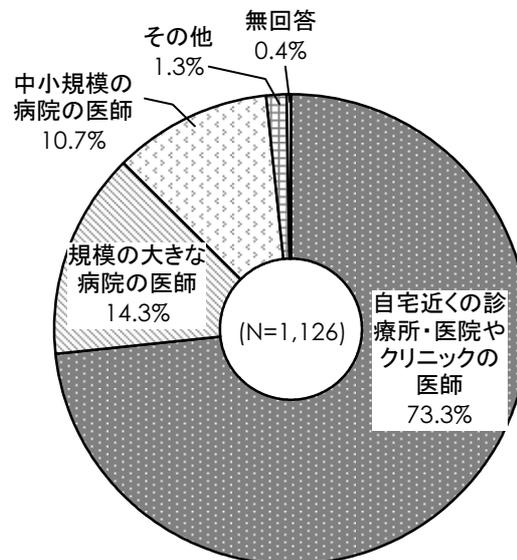
あなたのかかりつけ医は、どのような施設の医師ですか。次の中から 1 つだけ選んでください。

[回答者数=1,126]

1 自宅近くの診療所・医院やクリニックの医師	73.3%
2 規模の大きな病院の医師（入院ベッド数が 200 床以上の総合病院）	14.3%
3 中小規模の病院の医師（入院ベッド数が 200 床未満の病院）	10.7%
4 その他	1.3%
（無回答）	0.4%

かかりつけ医のいる施設の種類の種類については、「自宅近くの診療所・医院やクリニックの医師」が 73.3%と 7 割を超え最も高く、次いで「規模の大きな病院の医師（入院ベッド数が 200 床以上の総合病院）」が 14.3%、「中小規模の病院の医師（入院ベッド数が 200 床未満の病院）」が 10.7%などとなっている。

〈 かかりつけ医のいる施設の種類の種類 〉



(3) かかりつけ医を持っていない理由

問 19-2 《問 19 で「2 持ってない」と答えた方に、おたずねします》

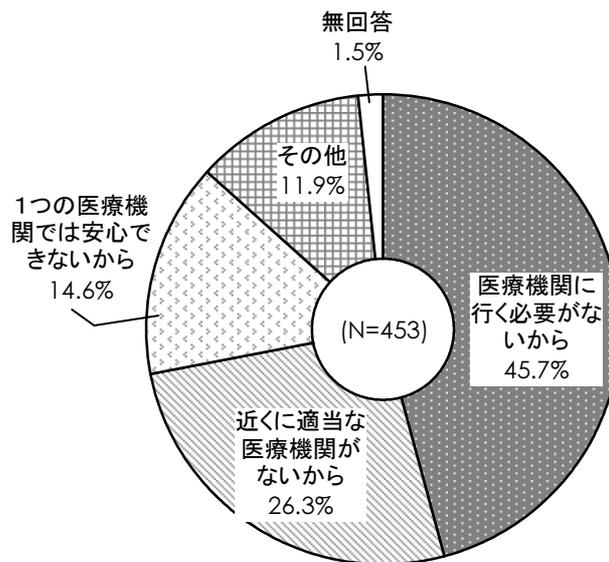
「かかりつけ医」を持っていない理由は何ですか。次の中から1つだけ選んでください。

[回答者数=453]

1 医療機関に行く必要がないから	45.7%
2 近くに適切な医療機関がないから	26.3%
3 1つの医療機関では安心できないから	14.6%
4 その他	11.9%
(無回答)	1.5%

かかりつけ医を持っていない理由については、「医療機関に行く必要がないから」が 45.7% と 4 割を超え最も高く、次いで「近くに適切な医療機関がないから」が 26.3%、「1つの医療機関では安心できないから」が 14.6% などとなっている。

〈 かかりつけ医を持っていない理由 〉



(4) 病院勤務医の実態の認知度

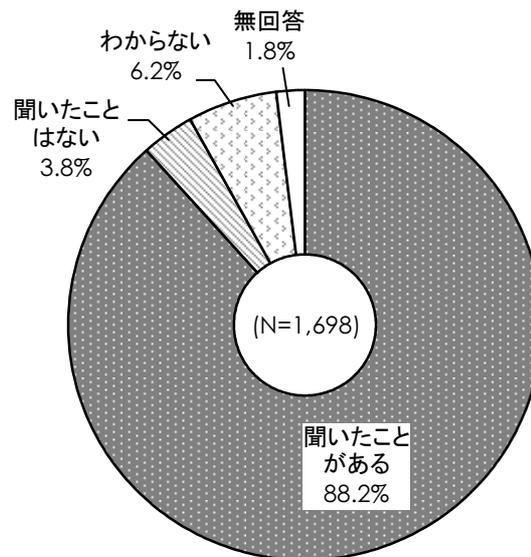
問 20 近年、比較的規模の大きな総合病院に勤務する医師を中心として、過重労働や患者の時間外対応などから医師への負担が大きくなっており、特に、救急や産科といった分野では医師不足が問題となっています。あなたはこうした病院勤務医の実態をご存知でしたか。次の中から1つだけ選んでください。

[回答者数=1,698]

1 聞いたことがある	88.2%
2 聞いたことはない	3.8%
3 わからない	6.2%
(無回答)	1.8%

病院勤務医の実態の認知度については、「聞いたことがある」が88.2%と9割近くを占め、「聞いたことはない」は3.8%となっている。

〈 病院勤務医の実態の認知度 〉



(5) 病院勤務医を中心とした医師への負担を変えていくために必要だと思うこと

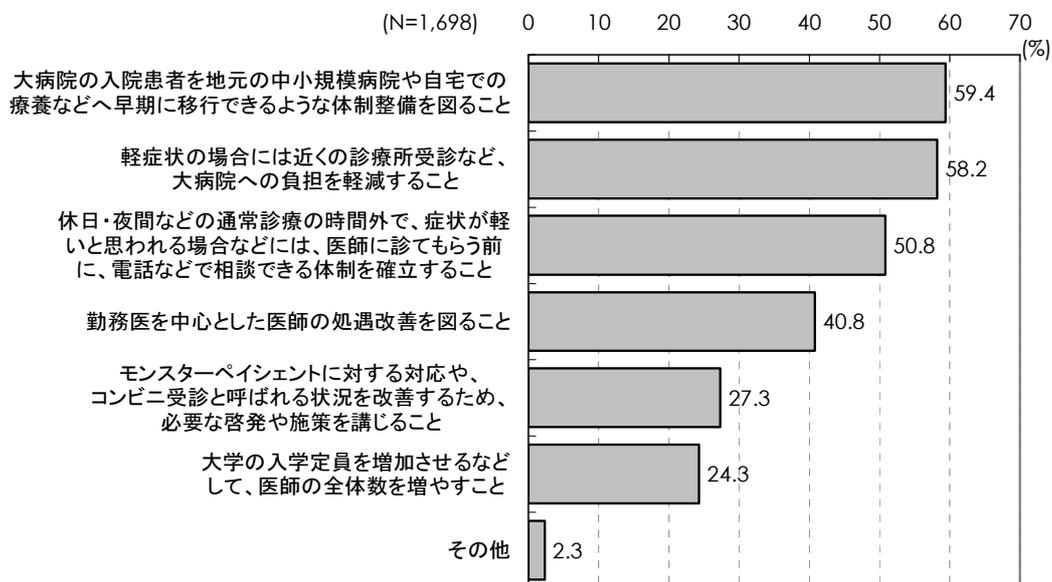
問 21 病院勤務医を中心とした医師への負担を変えていくために、あなたはどのようなことが必要であると考えますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

[回答者数=1,698]

- | | |
|---|-------|
| 1 大病院と中小規模の病院や診療所などとの連携を進め、大病院の入院患者を地元の中小規模病院や自宅での療養などへ早期に移行できるような体制整備を図ること | 59.4% |
| 2 症状が軽い場合には自宅近くの診療所を受診するなど、大病院への負担を軽減すること | 58.2% |
| 3 休日・夜間などの通常診療の時間外で、症状が軽いと思われる場合などには、医師に診てもらう前に、電話などで相談できる体制を確立すること | 50.8% |
| 4 勤務医を中心とした医師の処遇改善を図ること | 40.8% |
| 5 モンスターペイシエントに対する対応や、コンビニ受診と呼ばれる状況を改善するため、必要な啓発や施策を講じること | 27.3% |
| 6 大学の入学定員を増加させるなどして、医師の全体数を増やすこと | 24.3% |
| 7 その他 | 2.3% |

病院勤務医を中心とした医師への負担を変えていくために必要だと思うことについては、「大病院と中小規模の病院や診療所などとの連携を進め、大病院の入院患者を地元の中小規模病院や自宅での療養などへ早期に移行できるような体制整備を図ること」が59.4%と約6割を占め最も高く、次いで「症状が軽い場合には自宅近くの診療所を受診するなど、大病院への負担を軽減すること」が58.2%、「休日・夜間などの通常診療の時間外で、症状が軽いと思われる場合などには、医師に診てもらう前に、電話などで相談できる体制を確立すること」が50.8%、「勤務医を中心とした医師の処遇改善を図ること」が40.8%などとなっている。

〈 病院勤務医を中心とした医師への負担を変えていくために必要だと思うこと 〉



(6) 自分の最期を迎えたい場所

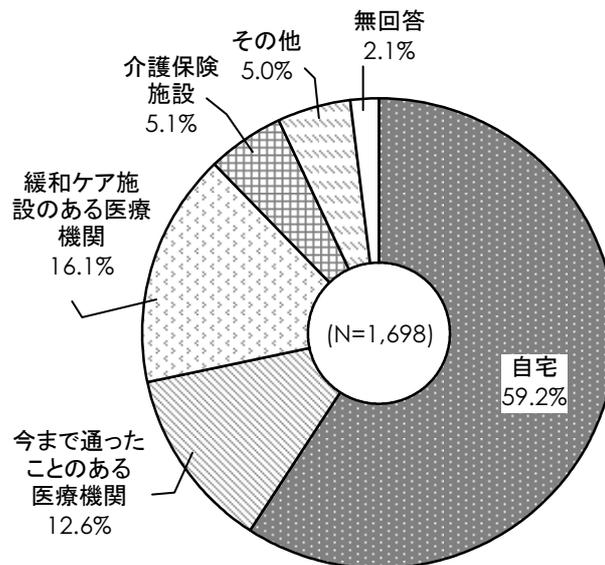
問 22 あなたは、ご自分の最期をどこで迎えたいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

[回答者数=1,698]

1 自宅	59.2%
2 今まで通ったことのある医療機関（病院、診療所）	12.6%
3 緩和ケア施設のある医療機関	16.1%
4 介護保険施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など）	5.1%
5 その他	5.0%
（無回答）	2.1%

自分の最期を迎えたい場所については、「自宅」が 59.2%と約6割を占め最も高く、次いで「緩和ケア施設のある医療機関」が 16.1%、「今まで通ったことのある医療機関（病院、診療所）」が 12.6%となっている。

〈 自分の最期を迎えたい場所 〉



(7) 寝たきりになっても自宅で必要な医療を受けていくために必要であると思うもの

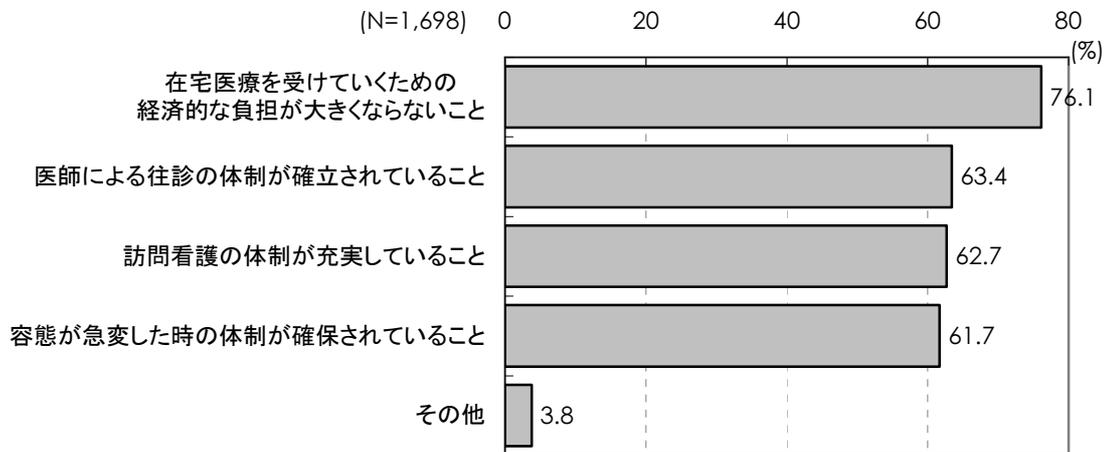
問 23 国においては、今年度を「在宅医療・介護安心 2012」と題して、在宅医療に力を入れていく方針を示しています。あなたは、寝たきりになった場合などに、ご自宅で必要な医療を受けていくために、特に必要であると考えられるものは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

[回答者数=1,698]

- | | |
|-------------------------------|-------|
| 1 在宅医療を受けていくための経済的な負担が大きくなること | 76.1% |
| 2 医師による往診の体制が確立されていること | 63.4% |
| 3 訪問看護の体制が充実していること | 62.7% |
| 4 容態が急変した時の体制が確保されていること | 61.7% |
| 5 その他 | 3.8% |

寝たきりになっても自宅で必要な医療を受けていくために必要であると思うものについては、「在宅医療を受けていくための経済的な負担が大きくなること」が 76.1%と7割を超え最も高く、次いで「医師による往診の体制が確立されていること」が 63.4%、「訪問看護の体制が充実していること」が 62.7%、「容態が急変した時の体制が確保されていること」が 61.7%などとなっている。

〈 寝たきりになっても自宅で必要な医療を受けていくために必要であると思うもの 〉



(8) 今後の香川の医療の充実を図るために特に力を入れてほしいこと

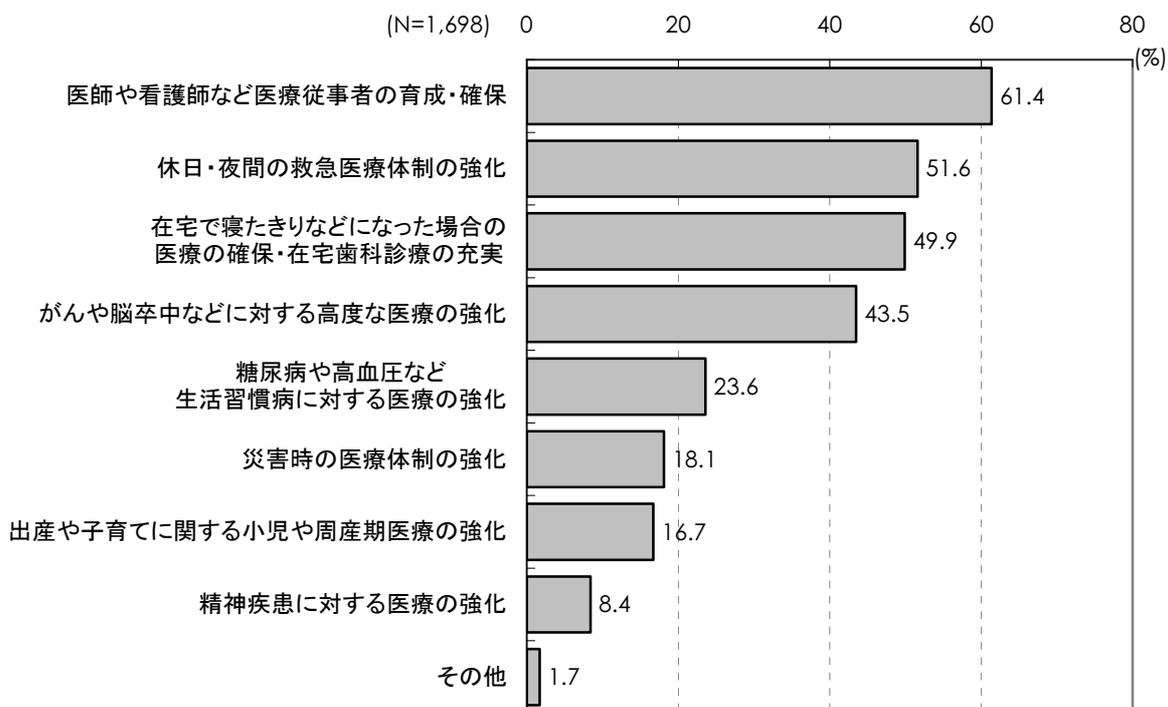
問 24 今後の香川の医療の充実を図るため、あなたが特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

[回答者数=1,698]

1 医師や看護師など医療従事者の育成・確保	61.4%
2 休日・夜間の救急医療体制の強化	51.6%
3 在宅で寝たきりなどになった場合の医療の確保・在宅歯科診療の充実	49.9%
4 がんや脳卒中などに対する高度な医療の強化	43.5%
5 糖尿病や高血圧など生活習慣病に対する医療の強化	23.6%
6 災害時の医療体制の強化	18.1%
7 出産や子育てに関する小児や周産期医療の強化	16.7%
8 精神疾患に対する医療の強化	8.4%
9 その他	1.7%

今後の香川の医療の充実を図るために特に力を入れてほしいことについては、「医師や看護師など医療従事者の育成・確保」が61.4%と6割を超え最も高く、次いで「休日・夜間の救急医療体制の強化」が51.6%、「在宅で寝たきりなどになった場合の医療の確保・在宅歯科診療の充実」が49.9%、「がんや脳卒中などに対する高度な医療の強化」が43.5%などとなっている。

〈 今後の香川の医療の充実を図るために特に力を入れてほしいこと 〉



5 県政の重要度と満足度について

県民の皆さまのニーズ(要望)に対応した県政を進めるためには、皆さまが「県行政に対して何を求めているのか」、「現在の状況にどのくらい満足しているのか」を知り、それを県政に反映させていくことが重要となります。現在、「せとうち田園都市香川創造プラン」※（平成23～27年度）の各施策の達成状況を評価したいと思いますので、各施策に対する重要度と満足度について皆さまの考えをお伺いします。以下の質問にお答えください。

「重要度」については、あなたが今の生活やこれからの生活を送っていくうえで各施策がどのくらい重要かを、また、「満足度」については、あなたが各施策に対して現状にどのくらい満足しているかを、それぞれ五段階で評価してください。

※「せとうち田園都市香川創造プラン」

本県の進むべき基本的方向とそれを実現するための方策を明らかにした県政運営の基本指針である「せとうち田園都市香川創造プラン（平成23～27年度）」を平成23年度に策定しました。

本プランの基本目標である「せとうち田園都市の創造」（活気あふれる街と美しい自然が隣接し、生涯を通じて安心して生活できる環境の中で、人々が生きがいを見だし、みずからの能力を存分に発揮できる、また、その魅力に引かれて集い合う、瀬戸内香川の生活圏域の創造）をめざして各施策に取り組んでいます。

「せとうち田園都市の創造」を実現するための基本方針として、活力ある産業づくりと働く場の確保を主な内容とする「元気の出る香川づくり」、生涯を通じた安心の確保をめざす「安心できる香川づくり」、たくましい人づくりと魅力ある地域づくりをめざす「夢と希望あふれる香川づくり」の3つの香川づくりを掲げています。

(1) 元気の出る香川づくり (重要度)

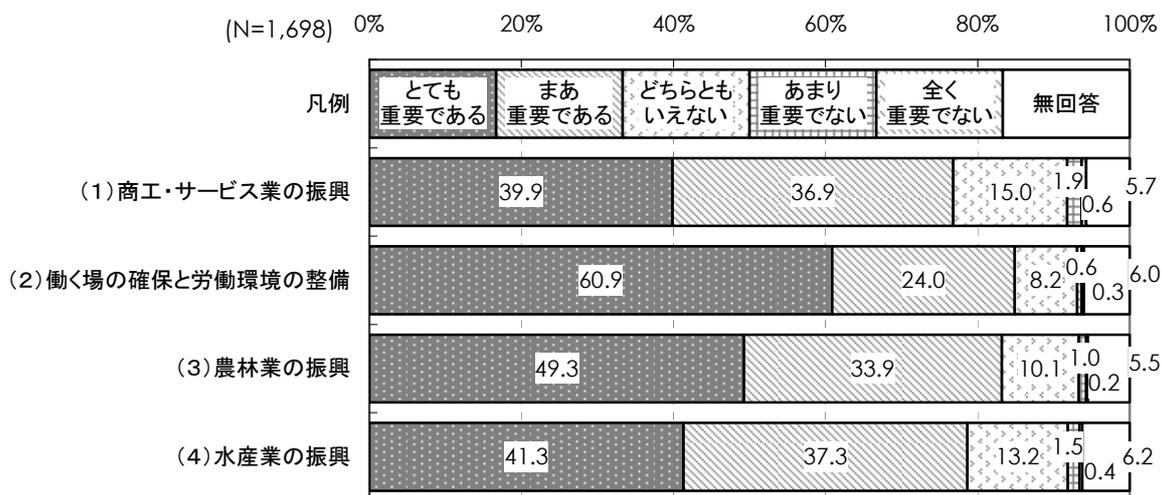
問 25 「せとうち田園都市香川創造プラン」の基本方針「元気の出る香川づくり」についておたずねします。「元気の出る香川づくり」に向けて進めている施策の1～4について、あなたの〈重要度〉を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

(単位：%)

[回答者数=1,698]	重要度					
	とても重要である	まあ重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない	無回答
1 商工・サービス業の振興	39.9	36.9	15.0	1.9	0.6	5.7
2 働く場の確保と労働環境の整備	60.9	24.0	8.2	0.6	0.3	6.0
3 農林業の振興	49.3	33.9	10.1	1.0	0.2	5.5
4 水産業の振興	41.3	37.3	13.2	1.5	0.4	6.2

「元気の出る香川づくり」について重要度をみると、どの施策項目でも「とても重要である」と「まあ重要である」を合わせた【重要である】が7割を超えており、特に『働く場の確保と労働環境の整備』では84.9%、『農林業の振興』では83.2%と、8割を超えている。

〈 元気の出る香川づくり (重要度) 〉



(2) 元気の出る香川づくり（満足度）

問 25 「せとうち田園都市香川創造プラン」の基本方針「元気の出る香川づくり」についておたずねします。「元気の出る香川づくり」に向けて進めている施策の1～4について、あなたの〈満足度〉を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

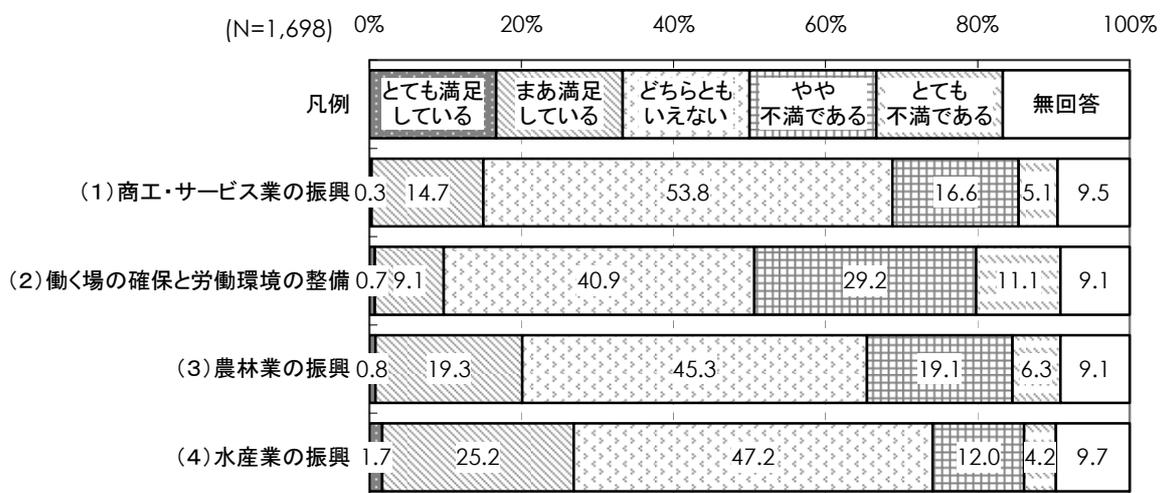
(単位：%)

[回答者数=1,698]	満足度					
	とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	とても不満である	無回答
1 商工・サービス業の振興	0.3	14.7	53.8	16.6	5.1	9.5
2 働く場の確保と労働環境の整備	0.7	9.1	40.9	29.2	11.1	9.1
3 農林業の振興	0.8	19.3	45.3	19.1	6.3	9.1
4 水産業の振興	1.7	25.2	47.2	12.0	4.2	9.7

「元気の出る香川づくり」について満足度をみると、どの施策項目でも「どちらともいえない」が最も高く、4割を超えている。

『水産業の振興』については、「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた【満足している】が「とても不満である」と「やや不満である」を合わせた【不満である】を上回っている。一方、『商工・サービス業の振興』、『働く場の確保と労働環境の整備』、『農林業の振興』では【不満である】が【満足している】を上回っており、特に『働く場の確保と労働環境の整備』ではその差が大きくなっている。

〈 元気の出る香川づくり（満足度） 〉



(3) 安心できる香川づくり (重要度)

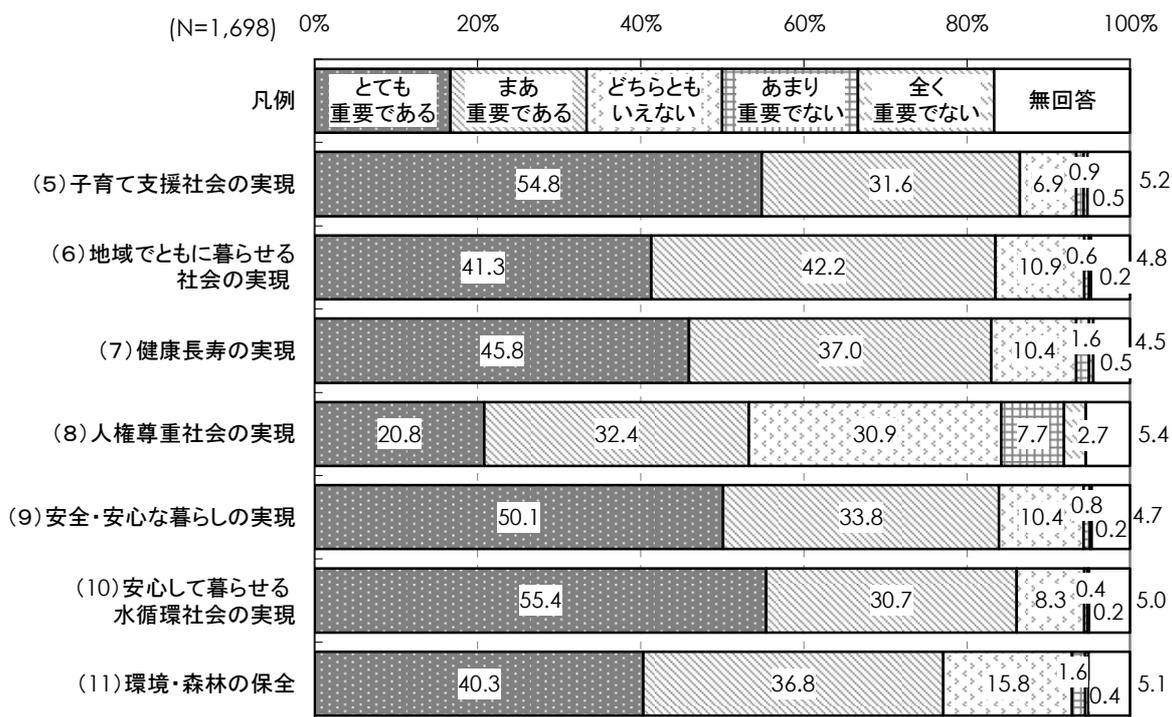
問 26 「せとうち田園都市香川創造プラン」の基本方針「安心できる香川づくり」についておたずねします。「安心できる香川づくり」に向けて進めている施策の5～11について、あなたの〈重要度〉を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

(単位：%)

[回答者数=1,698]	重要度					
	とても重要である	まあ重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない	無回答
5 子育て支援社会の実現	54.8	31.6	6.9	0.9	0.5	5.2
6 地域でともに暮らせる社会の実現	41.3	42.2	10.9	0.6	0.2	4.8
7 健康長寿の実現	45.8	37.0	10.4	1.6	0.5	4.5
8 人権尊重社会の実現	20.8	32.4	30.9	7.7	2.7	5.4
9 安全・安心な暮らしの実現	50.1	33.8	10.4	0.8	0.2	4.7
10 安心して暮らせる水循環社会の実現	55.4	30.7	8.3	0.4	0.2	5.0
11 環境・森林の保全	40.3	36.8	15.8	1.6	0.4	5.1

「安心できる香川づくり」について重要度をみると、ほとんどの施策項目で【重要である】が8割を超えており、特に『子育て支援社会の実現』、『安心して暮らせる水循環社会の実現』で高い割合となっている。

〈安心できる香川づくり (重要度)〉



(4) 安心できる香川づくり (満足度)

問 26 「せとうち田園都市香川創造プラン」の基本方針「安心できる香川づくり」についておたずねします。「安心できる香川づくり」に向けて進めている施策の5～11について、あなたの〈満足度〉を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

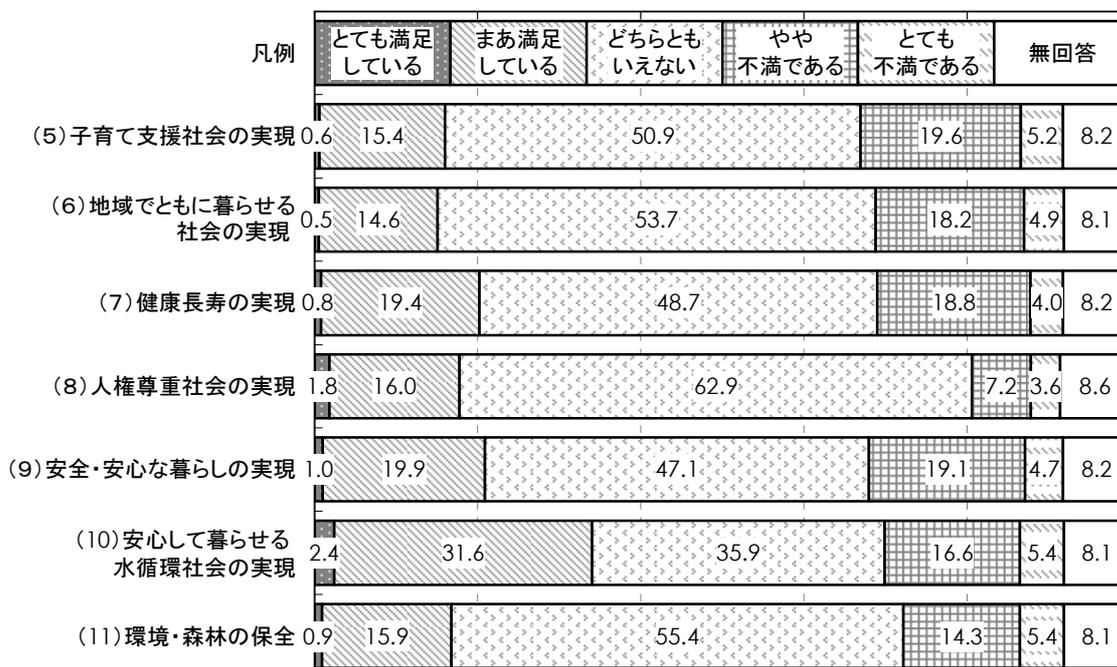
(単位：%)

[回答者数=1,698]	満足度					
	とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	とても不満である	無回答
5 子育て支援社会の実現	0.6	15.4	50.9	19.6	5.2	8.2
6 地域でともに暮らせる社会の実現	0.5	14.6	53.7	18.2	4.9	8.1
7 健康長寿の実現	0.8	19.4	48.7	18.8	4.0	8.2
8 人権尊重社会の実現	1.8	16.0	62.9	7.2	3.6	8.6
9 安全・安心な暮らしの実現	1.0	19.9	47.1	19.1	4.7	8.2
10 安心して暮らせる水循環社会の実現	2.4	31.6	35.9	16.6	5.4	8.1
11 環境・森林の保全	0.9	15.9	55.4	14.3	5.4	8.1

「安心できる香川づくり」について満足度をみると、どの施策項目でも「どちらともいえない」が最も高く4割を超えている。また、『人権尊重社会の実現』、『安心して暮らせる水循環社会の実現』については、【満足している】が【不満である】を上回っている。一方、その他の項目では【不満である】が【満足している】を上回っている。

〈元気の出る香川づくり (満足度)〉

(N=1,698) 0% 20% 40% 60% 80% 100%



(5) 夢と希望あふれる香川づくり (重要度)

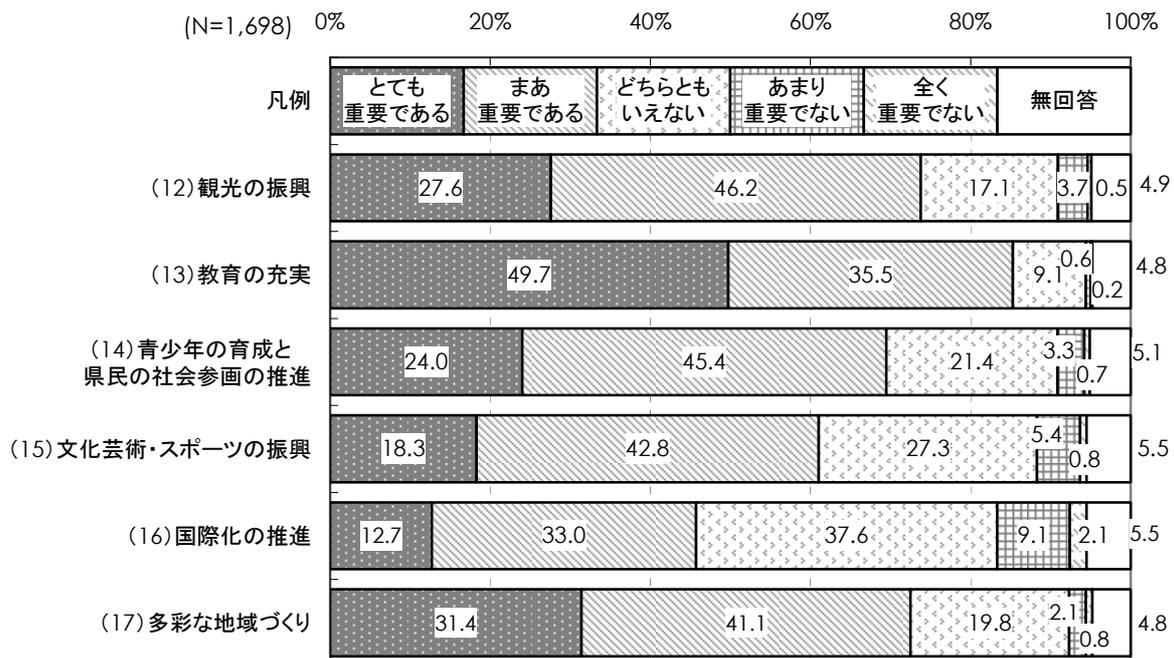
問 27 「せとうち田園都市香川創造プラン」の基本方針「夢と希望あふれる香川づくり」についておたずねします。「夢と希望あふれる香川づくり」に向けて進めている施策の12～17について、あなたの<重要度>を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

(単位：%)

[回答者数=1,698]	重要度					
	とても重要である	まあ重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない	無回答
12 観光の振興	27.6	46.2	17.1	3.7	0.5	4.9
13 教育の充実	49.7	35.5	9.1	0.6	0.2	4.8
14 青少年の育成と県民の社会参画の推進	24.0	45.4	21.4	3.3	0.7	5.1
15 文化芸術・スポーツの振興	18.3	42.8	27.3	5.4	0.8	5.5
16 国際化の推進	12.7	33.0	37.6	9.1	2.1	5.5
17 多彩な地域づくり	31.4	41.1	19.8	2.1	0.8	4.8

「夢と希望あふれる香川づくり」について重要度をみると、ほとんどの施策項目で【重要である】が6割を超えており、特に『教育の充実』で85.2%と8割を超え、『観光の振興』、『多彩な地域づくり』で7割を超える。

< 夢と希望あふれる香川づくり (重要度) >



(6) 夢と希望あふれる香川づくり (満足度)

問 27 「せとうち田園都市香川創造プラン」の基本方針「夢と希望あふれる香川づくり」についておたずねします。「夢と希望あふれる香川づくり」に向けて進めている施策の12～17について、あなたの〈満足度〉を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

(単位：%)

[回答者数=1,698]	満足度					
	とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	とても不満である	無回答
12 観光の振興	1.2	25.3	45.5	15.4	4.8	7.8
13 教育の充実	1.1	21.4	46.4	16.9	6.0	8.2
14 青少年の育成と県民の社会参画の推進	1.1	16.4	62.1	9.5	2.4	8.5
15 文化芸術・スポーツの振興	1.5	24.2	53.2	10.1	2.2	8.7
16 国際化の推進	0.7	12.6	67.8	7.9	2.5	8.5
17 多彩な地域づくり	0.9	15.1	56.7	14.7	4.2	8.3

「夢と希望あふれる香川づくり」について満足度をみると、どの施策項目でも「どちらともいえない」が最も高く4割を超えている。また、ほとんどの施策項目で【満足している】が【不満である】を上回っているが、『教育の充実』、『多彩な地域づくり』では【不満である】が【満足している】を上回っている。

〈 夢と希望あふれる香川づくり (満足度) 〉

